

九州学院 百年史年表 -1868 (明治元) 年以後-

西暦	年号	月日	一般事項・ルーテル教会関係事項
1868	明治元	1/3	明治維新 (キリスト教禁制、廃仏毀釈)。
		3/14	五カ条御誓文発令。
		9/8	明治と改元。
1869	2	1/5	横井小楠暗殺。
		5/21	京都に日本初の小学校開校 (柳池小学校)。
		6/17	版籍奉還。6/25 藩政改革を命令。
1871	4	7/14	廃藩置県。熊本県、人吉県成立。7/18 文部省設置。
		9/1	熊本洋学校開校。
1872	5	6/14	熊本県を白川県と改称。6/18 明治天皇、白川県行幸。
		8/3	学制頒布。
1873	6	1/10	「徴兵令」公布。
		2/24	キリスト教解禁、切支丹禁制の高札撤去。
1876	9	1/30	熊本バンド結成 (花岡山血盟)。
		10/7	ジェーンズ熊本を去り大阪に向かう。10/24 神風連の乱起こる。
1877	10	1/30	西南の役起こる (~9/30)。
		2/19	熊本城炎上。2/21 薩軍、熊本城を包囲。
		3/4	田原坂で激戦展開。
1878	11	3/5	日本最初の万国博覧会 (東京湯島) 開催。
		10/21	こうしゅ 広取学校、開校式。
1879	12	6/4	東京招魂社から靖国神社に改名。
1882	15	1/4	「軍人勅諭」発布。
		3/19	徳富蘇峰が大江義塾開校。
		5/29	東京にコレラ発生。全国で死者 33,784 人。
1886	19	3/2	「帝国大学令」公布。
		4/10	「小学校令」「中学校令」「師範学校令」公布。
		6	南部一致シノッド (アメリカ南部一致ルーテル教会) 成立。6 月に第 1 回総会開催。
		10	日本最古の私立幼稚園、「北陸学院英和幼稚園」が金沢に誕生。
1888	21	4/20	熊本英学校設立、校長に海老名弾正。
		6	南部一致シノッド、海外伝道局を創設し日本伝道を決議。
1889	22	1/22	「徴兵令」改正。
		2/11	大日本帝国憲法 (明治憲法) 発布。
		7/1	東海道線全線開通。
1890	23	7/1	第 1 回衆議院総選挙実施 (直接国税 15 円以上の納税者)。
		10/10	第五高等中学校、飽田郡黒髪村 (現熊本市) で新築開校式を行う。10/30 教育勅語発布。
		11/29	第 1 回帝国議会開会。
1891	24	1/9	内村鑑三不敬事件。
		10/16	済々沱、熊本法律学校、春雨、熊本文学館が合同して九州学院 (本校とは別学校) を設立。
		10/20	シェーラー、最初の日本への派遣宣教師に決定。
		12/14	「中学校令」改正。
1892	25	1/11	熊本英学校の新校長として蔵原惟郭が着任。奥村禎次郎事件が起きる。
		2	南部一致シノッド、宣教師として J.A.B.シェーラーを日本へ派遣。2.サンフランシスコを出帆。2/25 横浜に到着。
		4	遠山参良、鎮西学館を辞し、オハイオ・ウェスレヤン大学に留学するため渡米。
		6~11	6. R.B.ピーリー、ゲッティスバーグの神学校を卒業。8 月 按手、ウィンチェスター教会だけの献金のサポートで 11 月日本へ向け出帆。
		6	福田令寿、熊本英学校を卒業。
1893	26	2~3	2 月シェーラー、3 月ピーリー、日本語教師だった山内量平 (植村正久夫人の兄) を伴って佐賀に移住。アメリカ南部一致ルーテル教会、佐賀での宣教開始。シェーラーは、佐賀中学英語教師前任者ブラッドベリーの住んでいた佐賀城南に居住。自宅でバイブルクラスを継続。
		2/25	内村鑑三『基督信徒の慰』刊行。

		4/2	仮会堂を「佐賀十字教会」と名づけ、復活主日に最初の礼拝を行う。
		4/10	井上哲次郎『教育と宗教の衝突』刊行。
		4	内村鑑三が、大阪泰西学館から熊本英学校に赴任。7.辞任後（1学期のみ）、京都に移る。8/8 内村鑑三著『求安録』発行。
		12/16	熊本三年坂教会の新会堂が完成、献堂。
1894	27	3/26	最初の礼拝が行われる一週間前に、ピーリーが志水徳松（熊本県飽托郡白濱村の大工）に最初の洗礼を受ける。
		6	週2回の伝道集会を続けた後で、聖日礼拝と日曜学校を始める（松原町明治橋通七八番地）。投石、妨害、嫌がらせなどの反耶蘇の反発が続いた。
		6/25	「高等学校令」公布。
		7	日英通商航海条約（領事裁判権撤廃）調印。
		8/1	日清戦争開戦（清国に宣戦布告）。遠山参良、ウェスレヤン大学で日清戦争について弁ずる。
		11/24	内村鑑三“Japan and Japanese”刊行。
1895	28	3/30	鈴木直丸（後に量平の姪と結婚して山内姓）明治学院神学部卒業後、山内量平の招きに応じて福音路帖教会の教役者となり、佐賀に赴任。
		4/17	日清講和条約調印。4/23 三国干渉。5/10 内村鑑三“How I Became a Christian”刊行。
		7	C.L.ブラウン（21歳）、ローノーク・カレッジを卒業。
		11/12	リデル、回春病院創立。
1896	29	1	雑誌「太陽」創刊。3.台湾総督府条例公布。4.第1回近代オリンピック大会アテネで開催。
		5/23	第五高等学校花陵会発足。
		7/11	「九州私学校」（元・熊本英学校）廃校。熊本からキリスト教主義学校が姿を消す。
		8/21	同志社、アメリカンボードと断交。同校宣教師辞任。
		秋	C.L.ブラウン、フィラデルフィアのルーテル神学校に入学。
		11	J.R.モット（万国基督教青年会学生同盟幹事）来熊し、花陵会演説会を三年坂教会で開催。
1897	30	1	シェーラー、病のため帰国。4.シェーラー、宣教師を辞任。
		3	貨幣法公布（10.施行、金本位制確立）。
		?	ピーリーと大塚義信（後、犬塚と判明。日本基督教会の長老、佐賀藩大目付の子弟）により、最初の『礼拝式文』を出版。シェーラーとピーリー、教職候補生の神学教育に携わる。
		6/25	横井時雄、同志社社長に就任。7/15 内村鑑三『後世への最大遺物』刊行。
		9	大阪一致教会伝道者・和佐恒也がルーテル教会のミッションに加わる。副島松一（熊本教会最初の会員・花陵会第2回生）五高入学。
		10	アメリカ留学から帰国後の遠山参良、鎮西学館教師に再就任。英語および生物学担当。川崎升、神学科最高学年で遠山から教えを受ける。
1898	31	6/19	「佐賀十字教会」を「 日本福音路帖教会 」と改称。山内量平が主任教職に就任。
		6	C.L.ブラウン（24歳）、ルーテル神学校を卒業。9.ブラウン、バージニア州サーレムのV.E.フランツと結婚。
		6	自由・進歩両党合同し憲政党結成。 ^{わいはん} 隈板内閣成立。
		9	遠山参良、長崎活水女学校の生物学講師を囑託される（～明治32年7月）。
		9/7	J.M.T.ウィンテル宣教師、来日。
		9/16	ブランドラムが第五高等学校英語講師に就任。
		9/27	山内直丸、熊本に着任。
		10/2	山内直丸夫妻と五高生・副島松一の3人で ルーテル教会の熊本での最初の礼拝 （三位一体後第17日）が午前10時より行われた。熊本教会設立（六間町本渡屋菓舗跡の階上）。
		10	熊本のバプテスト教会、伝道開始。
		11/5	C.L.ブラウン宣教師、来日（横浜）。11/15 ブラウン夫妻、長崎経由で佐賀に着任。
		12/21	路帖熊本教会、2番目の仮会堂を駕町22番地に移転。
1899	32	1	山内量平と直丸の二人、ピーリー、ブラウンから教職按手礼を受ける。ルーテル教会最初の邦人牧師が誕生。
		2/1	熊本教会の講義所を上通町58番地の小さな家屋に設ける（～明治34年10月30日）。
		2/7	「中学校令」改正。「実業学校令」公布。2/8「高等女学校令」公布。
		5/21	ウィンテル、熊本を訪問し、上通町講義所で熱誠な説教をする。
		6/21	夏目金之助（漱石）、第五高等学校英語科主任に就任。
		7	遠山参良、夏目漱石と面接し、五高英語科講師招聘を受諾。長崎への帰途、列車内で C.L.ブラウンと遭遇 。遠山参良、鎮西学館及び活水女学校を辞任。

		7/17	明治 28 年調印された日英通商航海条約を始めとする新条約が実施される。
		8/3	「私立学校令」公布。「文部省訓令第十二号」公布。
		8/7	遠山参良、第五高等学校英語科講師嘱託として赴任。
		?	新渡戸稲造、アメリカで“Bushido”刊行。
		9	九州教役者大会（新教各派連合親睦会及び大挙伝道）開催。
		12	アメリカ南部バプテスト連盟外国伝道局の W.H.クラーク夫妻、熊本に着任し開拓伝道着手。
1900	33	1/22	遠山参良、第五高等学校教授を拝命。2/11 遠山教授、花陵会演説会で演説（於・三年坂教会）。
		3/10	治安維持法公布。3/29 改正衆議院議員選挙法公布。5.~義和団事件。
		5/27	熊本教会、3 番目の仮会堂を上通町 58 番地の講義所に移転。
		6/1	佐賀で第 1 回「教役者会」が開かれ、ブラウンが「アウグスブルク信仰告白の歴史的意義」を発題。7/12~9/4 ブラウン家族、避暑のために長崎に赴く。
		7	教役者会の決議に基づいて機関新聞「路帖教報」第 1 号を発刊。後の「るうてる」。
		7	夏目漱石の依頼により遠山参良教授、五高英語科主任を受諾。9/4 遠山教授、大学予科英語科主任拝命。龍南会の演説部長就任。
		8/20	「小学校令」改正。
		10/18~23	ブラウン、超教派の「日本在留宣教師会議」（於・東京）に出席。10/24~30 第 3 回宣教師大会が東京で開催される。
		11/3	リップード夫妻、佐賀に着任。
		12/1	熊本県尋常中学済々黌、県費支弁の中学となり、第一済々黌を熊本県中学済々黌、第二済々黌を熊本県熊本中学と改称。12.熊本に金融恐慌起こり、各地に波及する。
		12/13	佐賀教会堂、竣工、献堂（花房小路、総工費 1400 円）。ピーリー司式、ブラウンとウィンテル聖書朗読。この献堂式のために翻訳作成された式文を使用。
		12/14	C.L.ブラウン、家族と共に新屋敷町 435 番地に仮寓。熊本在留最初の宣教師として熊本伝道開始。12/15 熊本教会（上通町 58 番地）で歓迎会を行い、山内直丸牧師や教会員は喜びに沸いた。
		?	ピーリー著“LUTHERANS IN JAPAN”（『ピーリーの日本伝道開始の記録』）刊行。
1901	34	1/6	花陵会創立の功労者ブランドラムの追悼会が熊本メソジスト三年坂教会で行われた。
		1/30	熊本教会の仮会堂を長安寺町 1 番地に移転。
		2	八幡製鉄所操業開始。
		3	三年坂教会に値賀虎之助牧師が来任。
		5	青山学院や明治学院、徴兵令第 13 条により文部省から官立中学校同等以上と認定され、私立学校として在学生の徴兵猶予の特権を回復。
		5/18	片山潜・幸徳秋水ら社会民主党結成。10/20 禁止。
		10/19	J.R.モット再来熊し、三年坂教会で花陵会主催演説会を開催。10/24 モット伝道大演説会が熊本草葉町教会で開催され、ペインターと遠山参良も演説した。
		10/24	C.L.ブラウン、ブランドラム宣教師（聖公会）帰国の後を受けて五高英語科嘱託講師となる（～明治 35 年 8/31、明治 37 年 9/15~39 年 12/31）。
		12	福田令寿、エジンバラ大学医学部を卒業後、ドイツ・マルブルク大学産婦人科での研究を修了して帰国。
		12/10	田中正造、足尾鉍毒事件で天皇に直訴（未遂）。
1902	35	1/30	日英同盟協約締結。
		4/1	ブラウン夫妻に次男ロバート・マーシャルが誕生。
		7/6	熊本教会、建丁（明午橋通り）に新たに講義所を設ける。
		7/14	熊本教会、5 番目の仮会堂を新屋敷町 435 番地に移転。
		9/1	熊本教会、6 番目の仮会堂を新屋敷町 388 番地に移転。
		11/1	花陵会第 6 回創立記念演説会で遠山参良教授が演説（於・三年坂教会）。
		11	陸軍特別大演習を熊本で開催。明治天皇の 2 度目の熊本行幸が行われた。
		12	佐賀教会敷地内に幼稚園を建設。九州で 2 番目のキリスト教幼稚園として開園。定員 12 名に 25 名が入園。
		12/11	ブラウン、新屋敷町 338 番地の宣教師館に移る。
1903	36	2/3	五高瑞邦館で開催された演説競技会に、遠山部長からブラウンは招かれギターを演奏。
		3/27	「専門学校令」公布。
		4/2	佐賀伝道開始 10 年、第 5 回教役者会を開き、記念祈祷会、祝会（ピーリー、山内量平、幹枝への感謝）、親睦会を持つ。教会数 4、信徒数 114。佐賀神学校始動。

		4/13	「小学校令」一部改正。国定教科書制度成立。	
		4/16	ピーリー佐賀を出発し、シベリア鉄道で欧州のフィンランド、イギリスを經由して帰米。	
		?	熊本教会、伝道開始 5 周年を記念して、水道町 18 番地に敷地を求める。	
		6/30	内村鑑三、『万朝報』に「戦争廃止論」を書き、絶対的非戦論を打ち出す。	
		10/10	遠山教授、五高開校 13 回記念式に職員総代として祝詞を読む。	
		10	福田令寿、京都 YMCA 創立に際し創立委員長として尽力。	
		11/15	幸徳秋水と堺利彦が平民社を結成し、週刊『平民新聞』を発刊して非戦論を展開。	
		11/23	第 6 回教役者会を熊本のブラウン宅（新屋敷町 435 番地）で開催（～11/25）。	
1904	37	1~3	木下尚江、「毎日新聞」に小説『火の柱』を連載し、同年刊行。	
		2/8	日本艦隊旅順口襲撃。2/10 日露戦争開戦（ロシアに宣戦布告）。	
		3/4~	ルーテル教会有志第 1 回祈祷会を熊本教会（新屋敷町 388 番地）で開催。ブラウンが奨励。	
		3/7~	熊本教会は連続大伝道演説会を建丁講義所で開催。	
		4/9	熊本教会日曜学校、市外砂取町農具屋旅館の一部を使用。	
		5	日本宗教家大会で小崎弘道がキリスト教国家主義の立場から戦争是認論を展開。	
		7	YMCA、日露戦争満州軍隊慰労事業を展開（～明治 39 年 3 月）。	
		10/17	ルーテル教会が主唱し各派連合で開催した日露戦争の帰還傷病兵士慰安音楽会（熊本陸軍病院）で、ブラウンはギター演奏、夫人は英語の詩を朗読。	
		12/24	熊本教会、7 番目の仮会堂を南千反畑町 92 番地に移転。	
1905	38	1/22	ロシア帝国で「血の日曜日事件」を契機にロシア第 1 革命が発生。	
		2~5	福田令寿、京阪神地区 YMCA を代表して日露戦争満州軍隊を慰問。3/7 竹崎順子、召天。7.帰熊した福田令寿、熊本女学校長に就任（～大正 9）。	
		2/4	ルーテル熊本教会堂の建築に着手。	
		3	奉天での大激戦で日本軍 7 万人の死傷者。熊本教会日曜学校、寺原町の家屋を使用。	
		3/29	ロシア兵捕虜第 1 陣 974 人が 2 回に分け到着し、渡鹿収容所に収容。	
		5/27	日本海海戦でロシア・バルチック艦隊壊滅。	
		6/10	日本海海戦のロシア水兵捕虜 1000 人、11 日には 500 人が送られて来た。総数約 5700 人、最終的な収容人員 6003 人となる。	
		6/20	ルーテル熊本教会新会堂が熊本市水道町 18,19 番地に竣工し、ブラウン司式のもと献堂式を挙げる。	
		9	齊藤惣一、下関から来熊し五高に入学。遠山参良教授の薫陶を受ける。	
		9/5	日露講和条約（ポーツマス条約）調印。日比谷焼討事件（キリスト教会堂破壊焼却される）。10/11 第 19 回日本基督教会大会、各教会のミッションからの自給自立の実行を決議。	
		12	日露戦争のロシア兵捕虜（ルーテル教会員）が熊本教会の礼拝に出席。	
西暦	年号	月日	九州学院関係事項	一般事項・ルーテル教会関係事項
1906	明治 39	1/9	A.J.スタイワルトが宣教師として熊本に着任。シアトルを発って、1/8 門司に到着したスタイワルトはブラウンの出迎えを受ける。	2.以後、日曜日の礼拝献金を貯蓄して自給自営の思想を養成。書籍買入料として 70 円程を神学部へ寄贈。毎月 5 円内外を牧師給補助として伝道局に贈る。会計委員として西野俊雄、高藤梅男、河田直子（婦人会委員兼任）が当たる。聯合事業としての紫苑会治療所のために尽力。
		5/2	ブラウンは一時帰国休暇（1 年間）のために熊本を発つ。6/3 バージニアのサーレムに到着。ブラウン帰国中は、スタイワルトが新屋敷町 338 番地の宣教師館に居を構える。	4.熊本教会の牧師館を築き、日曜学校教室を設けて、全施設落成。幻燈器を信徒や求道者宅へ携え、伝道。
		6	アメリカ南部一致ルーテル教会総会で、熊本に神学部を中心とする教育機関を設立するための土地購入と校舎建設のための費用 5 万ドルの支出を可決。ブラウン奔走。	久留米のウィンテル、佐賀のリッパード共に帰米。スタイワルトのみ九州に在留。 日本基督教会、坪井に会堂を建設。翌年、独立自給。
				9/8 バプテスト教会宣教師 W.H.クラークと後藤六雄により、熊本浸礼教会（のち熊本バプテスト教会、熊本愛泉教会）の会堂を南坪井に建設し献堂。 8.信徒数十名合同して熊本市青年会を組織。福田令寿を会長として毎祝祭日に講話音楽会を開く。

				日曜学校協会の連合事業が行われる。 10.高橋邑重、伝道者として来任。 11.熊本教会の講義所を壺打町に設け、高橋邑重が担当者として伝道。
1907	40			1/21 東京株式市場が大暴落し、戦後恐慌に陥る。 3/21 小学校令改正（義務教育6年制）。 4.斉藤惣一、東京で開催された「万国基督教青年大会」に花陵会代表として出席。
		5/16	ミッションボードの決議で、ミッションスクールの創設と組織作りに本格的に取り組むこと、全権限をブラウンに依嘱することを決定。	5/16 熊本教会の講義所を坪井横町に移す。後、紫苑会治療所を併設。 5/22 メソジスト3派（メソジスト監督教会、南メソジスト監督教会、カナダ・メソジスト教会）合同総会開かれ、日本メソジスト教会成立。監督に本田庸一選出。 11/2 五高花陵会館落成。 12/22 L.S.G.ミラー熊本に来任。
1908	41	1	ミラー、熊本高等工業学校の嘱託講師となる。生徒五人を改宗させ、一人を入会させた。	1/3 アメリカ恐慌の余波で、東京株式市場が再び大暴落し、景気が完全に沈滞。以後、熊本でもストライキが相次ぐ。 3.値賀虎之助牧師の後任として、福岡教会から川瀬小太郎牧師が三年坂教会に来任。 4/28 第1回ブラジル移民700余名出発。
		8/1	「路帖新報」26号紙上に「私立熊本高等予備学校創立予告」の特別広告が出される。責任者「熊本市水道町18番地山内直丸方、私立熊本高等予備学校創立事務所」。	7/1 紫苑会治療所（貧困の同胞を慰籍救療する施療所）を路帖講義所（坪井横町）に設ける。顧問の一員に遠山参良（五高教授）、国手の中に福田令壽がいた。
		8/12	熊本高等予備学校、設立認可を受ける。	山内直丸、東京での伝道専念のため上京。
		9/15	ブラウン家族、F.D.スミスと共にサンフランシスコより日本へ出航。	8/1 日本福音路帖教会特定祈祷会「教会の一致」
		9/15	私立熊本高等予備学校を市外大江村旧向栄社跡に開校。新入生59名。校長兼教師スタイワルト、山内直丸が幹事兼修身科教師、講師に遠山参良など第五高等学校より5名、高等工業学校と医学校から各1名の応援を仰ぐ。	川瀬清の父・川瀬小太郎、三年坂教会を牧会。（～1920） 9/2 特定祈祷会「伝道思想の振興」
		10/11	ブラウン、長崎から佐賀を経て熊本に着任。10/26 スミスは直に東京に転じる。	10/16 ウィンテル家族と共に久留米に帰任。 10/21 ミラーはブラウン帰任により博多伝道に転ずる。
		12	リバードとブラウンが博多に出張して、会員入江徳太郎を神学生候補者として試験。	ブラウン帰任し、11/1 スタイワルト居を譲り、新屋敷町412番地に移る。11/4 特定祈祷会「教育事業に就いて」。 12/2 特定祈祷会「救済に就いて」
1909	42	2/22	ブラウンは社団法人申請（九州学院設立の準備）のため上京。2/28 東京教会での礼拝を守り、各学校の実状を視察調査。3/2 帰熊。	
		2/21	高橋信太郎が熊本教会に転入会し、同教会出身の神学生候補者となった。	3.鷲山誠晴、伝道者として熊本に来任。在住信徒数僅かに22名。
		4	高等予備校、新たに95名の入学者を迎え、計130名の盛況となる。	6/21 社団法人「在日アメリカ合衆国南部福音ルーテル教会一致シノッド宣教師社団」認可。7/6 第1回社団総会が佐賀のリバード宅で開催。理事長にブラウン、会計書記にスタイワルトを選出。
		6/26	熊本高等予備学校、突然閉鎖される。	
		9/27	路帖神学校が開校。（新屋敷412番地、スタイワルト宅を仮校舎）校長にブラウンが就任。	
		11/22	九州学院敷地買収。（熊本市外大江村字本。県立工業学校の南隣り、騎兵隊連隊の向隣り）2万5千円、1万坪。	10/26 伊藤博文、ハルビン駅頭で射殺される。鷲山誠晴が伝道師として熊本に着任。 11.ブラウン著“Japan for Christ”発行。
1910	43	1/19	私立九州学院設立認可。飽託郡大江村477番	4/1 『白樺』創刊。4/6 基督教教育同盟会

			地に設立。	成立。
		4/26	スタイワルト、九州学院の募金訴えの要務を帯びて、長崎から欧州を経て帰米。	5/25 大逆事件の検挙開始。
			路帖神学校、仮校舎を傘 3 番丁（新屋敷 2 丁目）に移し、その後さらに西子飼町に移す。	6/14~23 世界宣教会議開催（於・エジンバラ）。帰国途上のスタイワルト、世界宣教会に臨席。熊本市内キリスト教新教連合による宣教 50 年祝会がメソジスト三年坂教会で開かれる。
		8/17	バージニア州ローノーク市において、南部一致シノッド、北部ジェネラルカウンシル、在米デンマーク福音教会の 3 伝道局会議が開かれ、3 派の教会が結束して日本伝道にあたることを決定。3 ボードによる教育事業協約が締結され、各ボードは年間 15,000 ドル負担し、さらに学校設立のために 25,000 ドルの追加が可決された。帰国中のスタイワルトが関与。	7.山内直丸牧師、疲労のため熊本教会を辞任。博多東公園に移り、箱崎湾頭白砂青松の裡に静養。 ウィンテル、久留米から熊本に移住。
		9/30	遠山参良、五高教授を依頼免本官、講師囑託となる。10.私立九州学院創立に従事。路帖神学校の講義も担当する。	8/22 韓国併合に関する日韓条約調印（朝鮮総督府設置）。
		12/14	ローノーク会議の決定に従い、第 1 回在日宣教師会議「ルーテルに本伝道共同会議」を熊本で開催。ブラウン議長、スミス書記、ミラー会計を選出。	10.鷲山誠晴、熊本教会の主任として迎えられ、伝道の任に当る。
1911	44	3	遠山参良、龍南会演説部長を辞任。	1/24 大逆事件の幸徳秋水ら 11 名死刑。2/1 徳富蘆花、第一高等学校で「謀反論」と題し講演。幸徳秋水『基督抹殺論』刊行。
		3/18	遠山参良初代院長に就任（45 歳）。ブラウン主事に就任（37 歳）。「指定」認可申請書には 3/4 就任とある。	
		4	私立九州学院（飽託郡大江村）第一学年入学試験実施。試験科目は國語と算術。 「規程摘要」本学院は男子に中等程度の普通教育を施すを以て目的とす。 修業年限五ヶ年 入学資格 尋常小学校卒業以上の学力を有し年齢満十二年以上満十四年以下とす。 受験料金壹円	2/21 日米新通商航海条約・付属議定書調印（関税自主権を確立）。4/4 公布。7/17 実施。 4/3 日英通商航海条約調印。5/6 公布。7/17 実施。 4. 齊藤惣一、東大卒業後、五高英語科教師として赴任。
		4/15	九州学院開校。第 1 回入学生 122 名。1 クラス 30 名の 4 クラスに分け、寄宿舎 1 階を仮教室として授業を開始。野球部、剣道部創立。	7/1 瀧本幸吉郎、新たに牧師として熊本教会に招聘され、家族とともに到着。鷲山伝道師と力を併せ、伝道布教に尽力。九州学院神学部の教授も兼任。
		5/12	遠山ムツ夫人（三年坂教会員）召天。5/14 熊本メソジスト三年坂教会で告別式。	7/20 ブラウン一家、避暑で長崎の雲仙岳に向かう。
		6	路帖神学校を西子飼町から九州学院内に移転し、九州学院神学部に改組。	9/18~21 第 16 回教役者会を博多で開催。
		7/19	1 学期終業し、夏季休暇で帰省するため寄宿舎で送別懇親会を開催。8.県内生徒の家庭訪問。	9/27~10/1 大挙特別伝道を久留米教会で開催。
		9	久保徹、神学部主任教授就任。中学部も担当。玉置豊助（数学、物理）ら着任。	10/14,15 特別大挙伝道会を熊本教会で開催。学院教職が多数講演。
		12/22	学院最初のクリスマス祝会（於・寄宿舎大食堂）。福田令寿（熊本女学校長）降誕演説。	10/10 辛亥革命始まる。
1912	明治 45	4	本校舎竣工。木造 2 階建て 600 坪。外壁下見板張りの一部に筋交を意匠的に活用するステイック・スタイルという建築様式（設計者不明）。教室・職員室・神学部等を寄宿舎から移転。寄宿舎の食堂・台所・炊事場も完成。	1.E.T.ホールン、東京市より熊本市に転住。 4/14 英の豪華客船タイタニック号処女航海、冰山に衝突・沈没。1,513 人死亡。
		4	第 2 回入学試験が本館校舎で行われ、275 名が受験し 96 名が合格、95 名が入学。	
		4	E.T.Jr.ホールン、九州学院英語教師として転任。藤井寅一（教頭、国語・漢文）が鎮西学館から着任。	7/22~27 熊本の各キリスト教会で、明治天皇の平癒を願う祈祷会を開催。

	大正 1	9/8	九州学院で、ルーテル教会の第1回の宗教的集会在開催される。参加者37名のうち、生徒が29名であった。説教は遠山院長が担当。	7/30 明治天皇没、大正と改元。9/13 明治天皇大葬、乃木希典夫妻殉死。
		11/18	院長宅で第1回求道者会(50余名)を開催。以後、毎週月曜日に4組に分けて求道者会を催す。学院教職が担当指導。	9/23 スタイワルト帰任、日本到着。
		12/3	山室軍平(救世軍大佐)の講演会を九州学院で開催。(12/1は五高瑞邦館で、12/2は五高生徒集会所と物産館集議所、12/3は回春病院と九州学院で講演した。)	11/4~6 第17回教役者会を久留米教会で開催。遠山院長を始め学院教職が多数講演。
1913	大正 2	2/10	第1回学芸会を寄宿舎食堂で開催。	11.熊本教会、建丁に講義所を設け、毎土曜日夕小児の集会和大人に対する伝道説教を開く。
		4	川崎升、遠山院長の招きで鎮西学院から九州学院に移る。	3/23 熊本教会の復活祭祝日の出席者60名、陪餐者36名。受洗者11名のうち8名が九州学院の生徒。4/16 学院食堂でルーテル教会員としての歓迎会を開催。
			一般校舎竣工確認(ヴォーリズ建築)、講堂・チャペル、特別校舎、実施設計(ヴォーリズ建築)建築計画立案にとどまる。	宣教20周年、最初の教会憲法規則が制定される。初めての調査によると、信徒総数557人、宣教師を含む教役者22人、伝道地17カ所(内教会8)。
		4	第3回入学試験を行い、133人が入学。神学部(学生6名)、中学校(生徒302名、職員22名)。聖書研究会が、毎週水曜日午後2時より特別教室で開催。出席者多数のため、1組遠山院長、2組ブラウン主事、3組川崎升、4組久保徹、5組藤井寅一と分担。	4/1 日本基督教青年会同盟、日本女子基督教青年会同盟と共同で全国基督教青年会大会を開催。
		6/7	第4回「基督教教育同盟会」に初めて出席し、同盟に加盟。	4/29,30 日本福音ルーテル教会伝道20周年記念祝賀会を佐賀で開催。遠山院長、ブラウン主事、ウィンテル神学部教授、藤井教頭が演説。
		9/26	学則変更が認可される。	復活祭主日の熊本教会での受洗者11名中8名が九州学院生徒。九州学院青年会が組織され、会員60余名を数えた。
		?	『九州学院要覧』“Kyushu Gakuin Memorial”発行。	7.瀧本幸吉郎牧師一家、健康勝れず休養のため3ヶ月奈良に赴く。講義所一時閉鎖。牧師不在中、牧野典次氏が職務に精励。
		10	遠山参良はこの年から鎮西学院の理事(当時は商議員)を務め、10/25 鎮西学院の創立35周年記念式典講演会に招かれ、「活人物と活教育」と題して講演。	8/1 熊本市電開通式(熊本駅前~浄行寺)
		12/16	遠山参良(Toyama Saburo)、425坪の土地を1,000年間九州学院に貸与。	10/27~29 第18回教役者会を熊本教会と九州学院で開催。
		12/16	徴兵令第十三条の規定による 中学校の学科程度と同等以上の学校と認定 される。	11/4 ルーテル教会ミッション共同会議の年次総会をブラウン宣教師館(新屋敷388)で開催。
1914	3	2/1	ブラウン司式の下に15名の九州学院の生徒が受洗。	1/23 シーメンス事件。
		4	特別教室竣工(本館西に少し控え隣接、ヴォーリズ建築)。	4/15 『日本福音ルーテル教会 創設二十年記念史』発行。
		4/15	校訓を「敬天愛人」と定める。114名が入学。	4/16 第2次大隈内閣発足。
		9	村上二郎、四年間のアメリカ留学を終えて帰任。雨天体操場の拡張工事が完成。	6/28 サラエボ事件により、第1次世界大戦勃発。
		9/28	神学部始業式。川崎升、神学部教授に就任。	8/23 ドイツに宣戦布告し、第1次世界大戦に参戦。
		10/31	九州学院内の献身志望者で「黎明会」を組織し発会式を催す。教職員・生徒たちもブラウンを宣教師としている熊本教会へと導かれた。	11/7 ドイツ領・青島陥落。
1915	4	1/29	9時より海老名弾正伝道講演を開催。	1/28~30 花陵会主催の海老名弾正演説会が開催される。伝道講演や花岡山の奉教記念会の奨励などがあり、2~3.熊本教会の受洗者51名のうち45名が九州学院の教師(2名)、生徒(43名)であった。
		3	ホールン、英語科教師を辞す。	
		4	第5回入学試験を行い、135名が入学。	
		6/19	ブラウン夫人一行の帰米送別会と神学部卒業生5名の送別会を熊本教会で開催。	
		6/21	第1回神学部卒業式(5名卒業)。校長ブラウ	5/25 日本・中華民国間で21ヶ条調印。

			ン司会。神学生が不在となり、翌年 3 月まで神学部は休校。	
			寄宿舎竣工確認（ヴォーリズ建築）。公立中学校同等資格指定を受ける。	8/18 第 1 回全国中等学校野球大会始まる。（豊中球場）
		11/29	専門学校入学者検定規定に依り本院卒業者を 中学校卒業者同等以上の学力を有するものと指定 される。	11/11 全国基督教徒御大典奉賀式、同志社で挙る。
		12/9	ボードの決議でブラウンを当面、休暇期間（1916 年から）だけとしてボード書記に選出。	11/17 ボードの局長ロバート・ホーランドが死去。
1916	5	1/27	山室軍平が午後、九州学院で「青年と誘惑」の演題で伝道講演を行う。	1/30 午後 2 時より熊本バンド奉教 40 年記念会で、宮川経輝が持参した熊本バンドの誓約文を朗読し奨励を行った。
		1/28	宮川経輝が午後 3 時より「基督之人生観」の演題で伝道講演を行う。	3/5 ブラウン、熊本教会の主日礼拝で九州学院生徒宮原軍蔵以下 19 名に日本で最後の洗礼を施す。
		3/11	第 1 回卒業式挙行 （42 名卒業）。そのうち 17 名がブラウンから受洗した信徒。	3/18 ブラウンの送別会が熊本教会で開かれる。
		3/23	C.L.ブラウン離熊し帰米。4/10 サウスカロライナ州レキシントンに到着。	4/11 西南学院開院式。
		4	スタイワルト、ブラウンに代わり九州学院主事及び神学部長就任（ブラウン再帰任まで）。村上二郎、舎監となる。	5.ブラウン、南部一致ルーテル教会伝道局の総幹事の要職に就き、2 年半事務局で働く。
		4	宇土寅雄着任し、陸上競技部を創設。	
		4/11	神学部 9 ヶ月ぶりに再開（新入学神学生 8 名）。	
		4/23	九州学院神学部が専門学校令による設置認可 を受ける。	
		4/24	学則を改正して生徒定員を 500 名から 550 名に増加 し外に 補習科 40 名 をおくことが認可される。	
		?	神学部専門学校校舎、学院キャンパス北側に建築。	9/26~29「教役者会」を「年会」と改め、教会名称を「日本福音ルーテル教会」に統一。
		5	九州学院神学部専門学校開校。	学院資産を南部一致シノッド宣教師社団から財団に移管。
		5/5	九州学院財団法人の認可 が熊本県内務部長よりブラウン宛に通達。	12/9 夏目漱石没。
		6/1	第 1 回財団法人理事会開催（於・財団法人事務所、新屋敷町 388 番地）。	
		12/30	第 2 回財団法人理事会開催。	
		?	寄宿舎東寮（寄宿舎の北棟と南棟を東側正面玄関で繋ぐ形）、神学部校舎を建築。	各派連合の全国協同伝道が、九州学院での山室軍平の説教を先頭に熊本から起った。
1917	6	2/21~	ルター宗教改革 400 年記念救霊大伝道会（金森通倫）が九州学院を皮切りに開催される。	3/12 ロシア「2 月革命」。3/15 ニコライ 2 世退位。 4/6 アメリカがドイツに宣戦布告。
		3/22	南部一致シノッドとジェネラルカウンシルの両ボードは「九州学院伝道と経営の関与について合意書」を交わす。	7/31 齊藤惣一、五高教授を辞し、8/1 日本 YMCA 同盟主事となる。
		?	学芸部から雑誌部が独立して、雑誌「大江」を発行。	10/7~27「宗教改革 400 年記念伝道会」を各地で開催。
		夏	アメリカのルーテル教会の動向を受け、日本でのミッションの合同が進む。	
		9/17	遠山参良、渋谷うて（明治 17 年 9 月 9 日生）と再婚・入籍。	11/2 「石井・ランシング協定」交換。 11/7 ロシア「10 月革命」、ソヴィエト政権樹立。
		10/16	第 21 回「ルーテル教会年会」が久留米教会で開催され、遠山参良（メソジスト）も九州学院院长として出席。	11.アメリカ一致ルーテル教会（ULCA）が成立。 12/12 第 1 回新ボード会議開催。
				滝本幸吉郎牧師の大阪転任後、盲目の石松量蔵牧師（九州学院神学部卒、早稲田出身）熊本教会に就任。
1918	7	1/3	第 3 回財団法人理事会から遠山参良院長が諮問委員として出席する。	

		1/11	福岡女学院理事会が結成され、第 1 回会合で初代理事長に遠山参良が選出された(～昭和 7 年 10 月)。	4/30 東京女子大学 (学長・新渡戸稲造) 開校。8/2 シベリア出兵宣言。
		6/10	石松量蔵、熊本教会副牧師に就任。	8/2 日本政府、シベリア出兵 (～大正 11 年 10 月)。
				11.南部一致シノッド、ジェネラルカウンスル、ジェネラルシノッドの 3 シノッドが合同し、北米一致ルーテル教会を創設。 12/6「大学令」公布。「高等学校令」公布。
1919	8	3	遠山参良、活水女学校初代理事長就任 (～大正 10 年)。	1/18 パリ講話会議開催。5/23 衆議院議員選挙法改正 (直接国税 3 円以上の納税者に選挙権、小選挙区制)。
		3	リップード来熊し、1 学期間、神学部専門学校の教授を務める (～9/23)。	6/28 ヴェルサイユ条約調印、第 1 次世界大戦終結。
		6/14	ブラウンの日本帰任が不可能となったため、九州学院財団法人理事会で、スタイワルトを理事長及び学院設立者に選出。	ルーテル教会の第二次教会憲法規則が制定され、年会と宣教師会のそれぞれが独立した二院制をとることになった。
		9/24	ネルセン、熊本に着任。	
1920	9	4	L.S.G.ミラー、九州学院主事及び理事に就任。	4/15 同志社大学設立認可。
		4/6~	協同基礎章項及び教会憲法に基づく 第 1 回総会 が熊本教会と九州学院で開催される。	5/27 ボード会議で九州学院チャペルを 1921 年に建設することを決議。
		8	スタイワルト、休暇帰国。	
		9	L.S.G.ミラーが九州学院 (熊本) に着任。	(秋) 木下順二 (花陵会第 38 回生) 熊本三年坂教会で受洗。
		?	野球部が熊本県からの最初の出場者として朝日新聞主催の九州予選大会に出場。	
		12	伝道局理事会、 E.T.ホールンを九州学院初代チャプレンとして任命 し、学院に教会設立を命じる。	11.ホールン、再来日。
		12/8	高瀬時助 (神学部生)、「献身祈祷団」を組織。熊本バンドに倣い、花岡山で発会式を行った。	12/19 大杉栄ら日本社会主義同盟創立。
1921	10	1/30	花岡山バンド記念日に海老名弾正を迎え、「献身祈祷団」は奨励を受けた。	2.川崎升、鎮西学院同窓生として初めて院長に推され母校に戻る。
		2/24	九州学院教会発足 。E.T.ホールン初代牧師となる。3.高瀬時助は神学部卒業後、九州学院教会の副牧師、熊本教会補助者として奉仕。	2.熊本教会 (会員総数 354 名、現注册会员 182 名、礼拝出席者 10 名以上) から九州学院教会へ約 60 名転出。
			ネルセン、神学部長就任。	
		3/6	九州学院教会、礼拝開始。(150 人が座れる特別教室を使用) 最初の礼拝で九州学院生徒 6 名が受洗。夏休み前の礼拝で、生徒 13 名、教師の妻 2 名子弟 1 名が受洗。九州学院生徒のうち受洗者総数 65 名。	久留米地区で使われていたフォード車が九州学院に来て、宣教の大きな力となる。
		3/18	神学部専門学校としての最初の卒業式。	4/16.ブラウン、ニューヨークを発ちインドを経てアフリカへと向かう。
		5/15	創立 10 周年記念特別礼拝 を行う。5/29 創立 10 周年記念第 1 回特別伝道開催。	6/1 熊本市が周辺 11 町村を併合、大熊本市が実現。九州学院の所在地は熊本市大江となる。
		7/25~31	第 1 回夏季学校 (阿蘇湯の谷) 開催。校長・遠山参良院長、牧師・ホールン。	9/1 ブラウン、一旦インドへ戻り、11/5 リベリアに到着。
		10/3	庭球部、五高主催全九州中等学校庭球大会で優勝。	11/4 原首相、東京駅頭で刺殺される。
		12/18	ブラウン追悼記念礼拝を熊本教会で開催。12/21 学院での記念礼拝を体操場で開催。学院の生徒全員、教職員、ブラウンの旧友等 600 人以上が参列した。	11/25 皇太子裕仁親王が摂政に就任。 12/5 ブラウン (47 歳)、リベリアで召天。
				12/13 ワシントン会議で日英米仏 4 ケ国条約成立し、日英同盟廃棄。
		1922	11	3
3/17	神学部専門学校卒業式を九州学院教会 (学院特別教室) で挙げる。			2/16 三年坂教会で花陵会主催の演説会が徳富健次郎 (蘆花) を招いて行われた。
9/9~	有馬での第 3 回総会で九州学院教会設立が正式決定される。			3/3 全国水平社創立 (京都)。

		10	アメリカのローノーク大学、南カロライナ州立大学、フィラデルフィアのルーテル神学校で学んだ稲富肇が帰国。	10/17 第3回北米一致ルーテル教会総会で、ブラウン・メモリアル・チャペルを3万5千ドルで九州学院に建設する海外伝道局案が承認される。
		11	稲富肇、九州学院神学部専門学校教授に就任。	
1923	12	3	学院教頭・奥太一郎が日本女子大教授として転出。英語教師・呉屋良幸が東京帝国大学へ進学のため転出。優秀なクリスチャン教師が辞任。稲富肇、九州学院で修身と英語を担当。	宣教師会報告で主事代理ホールンが、秋までに海外伝道促進基金から3万5千ドルがチャペル建設のために与えられる旨、報告。
		3/19	本科生定員が580名から680名への学則変更が認められる。	
		4	三浦冢、九州学院神学部専門学校教授に就任。	4/7 慈愛園献堂式。
		4/4~	ルーテル教会宣教30年記念第4回総会を九州学院教会と熊本教会で開催。	4.徳富健次郎『竹崎順子』刊行。
		6	遠山院長、ペンシルバニア州ミュンヘンバーグ大学から Doctor of Letters (文学博士)の学位受領。12/21 学位伝達式を学院内で挙行。	6/9 有島武朗心中自殺。 7/25~31 第3回阿蘇夏季学校開催。
		?	県下中等学校競技大会で、野球部、庭球部、陸上競技部が優勝。	9/1 関東大震災。 11/10 「国民精神作興に関する詔書」公布。
		11/17	遠山院長、熊本県教育会より顕彰、記念品授与される。	
1924	13	2/1	『敬天愛人』(第1号、九州学院宗教部)発刊。	1/6 川瀬小太郎牧師(三年坂教会)召天。
		?	「敬愛会」創設。会長・紫垣正弘	
		3/26	授業料増額の学則変更が認可され、1ヶ月55円となる。	アメリカで排日移民法案が成立し、7/1 施行。対米感情が悪化。6/27 小崎弘道、植村正久、内村鑑三らキリスト教有志、米国移民法に反対する決議を発表。
		4	ミラー、学院財団法人理事長就任 (~昭和7年10月)。	
		4/22	九州学院財団法人理事会で、ブラウン記念礼拝堂建設の最終決定がなされる。	
		6	職員野球団ができ、6/13 遠山監督引率の下、宇土中学に遠征し圧勝。	
		9	神学校の東京移転問題で帰米していた校長・ネルセンが帰任。2年間のドイツ留学を終えた佐藤繁彦が帰国。	9/6~10 第5回総会が有馬で開催。ルーテル教会の自給運動始まる。佐藤繁彦を九州学院神学部正教授に任命。
		10/15	九州学院財団法人理事会が東京のスタイルト宅で開かれ、東京に移転する神学校用地を決定。	
		10	「九学ハーモニカ・バンド」が成立し、修養部の中に音楽部が設けられた。10/30 第7回学芸大会を熊本市公会堂で開催。	
1925	14	2.	チャペル建設始まる。	東京の神学校建築工事開始。8月末までに神学校寄宿舎、校長住宅、教授住宅3棟が竣工。
		6/18	九州学院神学部最後の卒業式(大内弘助1人)が、ほぼ完成したブラウン記念礼拝堂で挙行された。	4/13 「陸軍現役将校学校配属令」制定・公布。
		9/4~8	九州学院における宗教教育をめぐる問題で、宣教師側(宣教重視)と九州学院側(教育重視)が対立。教会の自給とキリスト教の日本化の問題の象徴。	4/22 治安維持法公布。5/5 普通選挙法公布(25歳以上の男子に選挙権)。
		9/10	九州学院神学部専門学校、東京に移転し日本福音ルーテル神学専門学校となる。	9/4~8 第6回総会が軽井沢で行われ、9/4 遠山院長、九州学院について報告。ホールンの九州学院チャプレン辞任を九州学院財団が認めた問題について紛糾、承認。
		9	ホールン、学院チャプレンを辞任。 稲富肇、九州学院第2代チャプレン、兼九州学院教会牧師に就任。 (~1932・昭和7年)	ルーテル教会の中心が熊本から東京に移る。
		10/30	ブラウン記念礼拝堂竣工し献堂 された。ヴォーリズ建築による初期の作品で、正面のデザ	9/23 ミラー五高英語囑託講師を務める(~昭和3年3月31日)。

			インはロマネスク様式をモダンに扱った特色のある鉄筋コンクリート造2階建て。(建設費34,355ドル、86,756円)	西部・東部それぞれの信徒懇談会が開催される。
		11	古坂剛隆(メソジスト出身、関西学院神学部、ヴァンダヴィルト大学、フィラデルフィアのルーテル神学校)が帰国、メソジスト教会からルーテル教会に教職として転籍し、11.九州学院教師となる。修身も担当。	ルーテル教会の中心が熊本から東京に移る。三浦冢(ルーテル教会出身)ルーテル神学校教授就任。
		11/18	ブラウン記念礼拝堂で朝礼開始。	
1926	大正15	3/31	日本ルーテル神学専門学校認可。	1/30 花岡山奉教50年記念式。
		3	教頭・村上二郎辞任し、九州女学院主事に転任。	4.ルーテル神学校、新入生3人。後に九州学院教会を牧する井芹貞安がいた。
			第2回信徒懇談会が開かれ、九州学院教会からは岩崎孝、紫垣正弘、田中寅雄が代表として参加。	5/4 九州女学院開校。北米、南米一致ルーテル教会婦人部を中心とする賛同者によって設立。M.B.エカードを院長、元九州学院教頭村上二郎を主事とし、外国人教師M.E.パッツ等を中心として発足。
	昭和1			12/25 裕仁親王が踐祚し、昭和と改元。
1927	昭和2	2	30名の学院生徒が受洗。	1/29 宗教法案、帝国議会(貴族院)に提出、キリスト教会を中心に反対運動。
			遠山院長、腎臓病を発病。翌年、回復。	7/24 芥川龍之介自殺。
		?	夏の甲子園出場をかけた県大会野球の決勝戦(宇土戦)が雨のため順延となり、日曜日(安息日)となったため止むを得ず棄権。	8/13 日本放送協会(NHK)が甲子園球場で開かれた第13回全国中学校野球大会のラジオ実況放送(日本最初のスポーツ放送)を行った。
				11/22 文部省令第26号によって中学校入学試験が廃止される。
1928	3	3/27	試験等に関する学則変更が認可される。	2/20 最初の衆議院議員男子普通選挙。
		3/31	本科生徒定員680名を700名に変更する申請が認可される。	3/15 共産党員大検挙(三・一五事件)。6/29 治安維持法改正。
		10/15	「私立九州學院」から「九州學院」への名称変更が認められる。	ルーテル教会、第三次憲法規則改正。日本人の「年会」と外国人の「宣教師会」の二院制を改め、「総会」に統合。日本のルーテル教会の自立化を象徴。
		11/10	昭和天皇即位大礼奉祝の市内行進(提灯行列)に学院生徒教職員も参加。 遠山院長、御大礼に際し文部大臣より表彰、記念品授与。即位式記念の設備改善を実施。	11/10 昭和天皇の即位大礼を挙行。 御大典記念伝道や賀川豊彦の100万人救霊運動に刺激され、自給運動盛んになる。
		12	クリスマス直前に九州学院教会で受洗した41人のほぼ全員が九州学院生徒であった。	
1929	4	2~10	稲富牧師、第2回世界ルーテル教会総会(コペンハーゲン)に日本代表として派遣され、活躍。雄弁な帰朝報告で、50人の生徒が受洗を希望。	1/13 久留米教会が最初の自給を決議。 4/16 日本共産党員大検挙(四・一六事件)。 9.小林多喜二『蟹工船』刊、発禁。 9/10 国体観念明徴・国民精神作興のための強化動員の訓令が下される。
		?	「敬愛会」が毎週1回ブラウン・メモリアル・チャペルで祈りの会「ゲッセマネ会」を開催。	10/24 世界恐慌勃発に端を発し、昭和恐慌到来。 10/29 基督教婦人矯風会第6回九州部会総会が熊本教会で開催。
1930	5	1/11	遠山院長、鎮西学院新校舎の落成献堂式で理事長及び九州学院長として祝賀演説を行う。	1/1 塚本虎二『聖書知識』創刊。 3/8 公娼制度廃止期成会が熊本市で発足。座長に福田令寿が就任。
		3/1	「みどり幼稚園」が熊本市新屋敷町に認可。	3/28 内村鑑三没。4/11 日本神学校開校。 4.浜口内閣、ロンドン海軍軍縮条約調印。
		?	図書館計画案(ヴォーリズ建築)後、竣工確認。体育館計画案(ヴォーリズ建築)。	5/18 博多教会が自給を宣言。 10.九州学院教会が自給を宣言。
				11/14 浜口首相、右翼に狙撃され重傷を負

				う（翌年、死亡）。
				11/23 院長夫人遠山うてを会長とする婦人会、県議会に対して娼妓問題を提起。
1931	6	?	「九州學院校友會々則」を制定し、校友会活動を開始。	1/10「中学校令施行規則改正」により、「法制・経済」を「公民科」に改正、「柔・剣道」を必修化。
		7/18	座談会「その昔を語る」を院長宅で行う。	ルーテル青年連合大会（翌年、ルーテル青年連盟）開催。九州学院敬愛会と熊本七星会が中心であった。
		7	創立 20 周年記念建物建設を発表。	9/18 柳条湖事件により満州事変始まる。
		9	図書館、特別教室（物理教室）、屋内体操場竣工。	11/11 昭和天皇、陸軍特別大演習統監のため熊本に行幸。12~14 陸軍特別大演習。
		10/1	創立 20 周年記念式典。校歌を制定。 『創立二十周年記念誌』発行。絵画展覧会。	12.犬養内閣成立。金輸出再禁止により、輸出を伸ばし景気が回復。
		10/2	記念運動会。10/3 体育デー（武道大会、野球大会、庭球大会、バスケットボール大会）。	1/28 上海事変起きる。
		11/11~19	昭和天皇奉迎行事（奉迎旗行列や帯山練兵場での観閲式等）に学院生徒も参加。	3/1 満州国建国宣言。
1932	7	2/23	「学科課程表」の大幅変更による学則変更認可。「昭和七年度 九州學院學則摘要」を作成。	4/30 花陵会館新館の献堂式。
		4/30	遠山院長、花陵会館新館献堂式に参列。	5/15 五・一五事件（犬養首相射殺）。斎藤実、挙国一致内閣を組織。7/6 内田康哉、外相に任命さる。6.中津親義、召天。8/25 内田外相、衆議院で焦土演説。
		5	遠山院長、中等学校長会議出席のため上京。	主事代理シリंगाー宣教師会報告で、九州学院の財政危機を訴える。米国伝道局からの援助が 20%カットされ、生徒減少。
		8/17~28	遠山院長、田浦の海岸（松韻漁荘）で夏季休養。2 回帰熊、1 回人吉へ講演。	9.上智大学学生の靖国神社礼拝拒否事件。
		9/16	遠山院長、執務中に院長室にて卒倒。	11/19 日本福音ルーテル教会青年連盟結成。
		10/9	午前 8 時 37 分、初代院長遠山参良召天。（67 歳）	
		10/10	宣教師会は稲富肇を九州学院財団に後継者として推薦。理事会で全会一致にて稲富を後継者に指名。 稲富肇第 2 代院長就任、学院財団理事長就任（～昭和 21 年 3 月）。	
		10/11	午後 3 時より遠山初代院長の学院葬を学院講堂で挙る。	
		11/19	校友会東京支部主催の追悼会を日本福音ルーテル東京教会で開催。	
		12/9	故遠山院長召天記念追悼会を東京基督教青年会館で開催。	
12/22	昭和天皇・皇后の「御真影奉戴式」を野外朝礼で挙る。			
1933	8	4	井芹貞安、九州学院教会牧師に就任。 按手礼はウィンテルによる。	1. 齊藤惣一、日本 Y M C A 同盟総主事に就任。
		7/14	奉安殿、ブラウン記念礼拝堂（講堂）南側に完成し、竣工式を挙る。	1/30 ヒトラーがドイツ首相に就任。 2/4 長野県教員赤化事件。2/20 小林多喜二、築地署に検挙され虐殺される。
		10/9	故遠山先生 1 周年記念追悼会を学院で開催。	3/27 日本が国際連盟脱退通告。
		12/9	『故遠山参良先生』発行。	7/25 滝川事件。
1934	9	3/6	本科生定員を 700 名から 750 名への学則変更認可。	1/8 上林高女（現・信愛女学院）紛糾事件。
		3/13	建武中興 600 年記念日に熊本県では菊池神社で記念大祭が催され、学院では稲富院長が記念講演を行った。	2/21 基督教学校教育同盟、稲富院長の申し出に基づき、旅順工科大学入学資格に関し、指定校差別撤廃を文部省に請願。
		6/5	朝礼に続き、「東郷元帥国葬遙拜」が学院でも行われた。	3/1 満州国帝政が実施され、執政溥儀が皇帝となる。
		10/13	県国防協会発会式（於・熊本市公会堂）に学院生徒教師一同が参加。	9/18 満州事変 2 周年記念の熊本市市民大行進が行われる。
		11	稲富院長、第 23 回日本基督教教育同盟総会（於・東洋英和女学校）で「日本主義的基督教教育」を提唱。	10/9 熊本地方防空演習が開始される。 12/29 ワシントン海軍軍縮条約破棄を米国に通告。

1935	10	4/8	昭和 10 年度始業式。	3/10 日露戦没 30 周年記念行事、熊本市外渡鹿練兵場で開催。3/25 新興熊本大博覧会が開幕（～5/13）。
		4/16	梨本宮殿下御視閲。4/17 新入生歓迎遠足で岩戸山へ出かける。	4/10 美濃部達吉の天皇機関説問題で、文部省が「国体明徴訓令」を発する。
		5/16	岡田松生（熊本洋学校 3 回生）講演。5/27 海軍 30 周年記念講演（海軍記念日）。	4/16 日本新聞協会第 23 回大会が熊本市公会堂新館ホールで開催される。
		6/3	弓道全国大会優勝の達示。6/13 海老名弾正講演。	12/8 大本教（京都府亀岡に本部を置く）検挙。不敬罪・治安維持法違反。
1936	11	1/11	斉藤惣一（日本 YMCA 総主事）講演会。	2/11 紀元節。
		2/23	井芹、病気のため学院教会臨時総会で辞職を受諾される。	2/26 二・二六事件。 3/13 大本教に解散命令が出る。
		3	大江教会に改称することによって「教育」と「宗教」を分離し、九州学院のキリスト教色を薄め、九州学院を守ろうとした。	3.九州学院教会、大江教会へと改称。教会名に町名を用いるようにという本部からの指示によるもの。
		4/19	古坂剛隆、九州学院教会牧師に就任し、学院チャプレンを兼務。（～1942・昭和 17）	4/18 「大日本帝国」が正式国名となる。 5/23 大亜細亜協会熊本支部結成。
		6/13	「青年日本の歌」を朝礼で歌う。	
		12/2	軍事教練査閲。12/18 朝礼で「元旦祝歌」（四方拝賀式の祝歌）を練習。	
1937	12	1/14	学院財団法人理事会で「規程摘要」の学院の目的の中に「キリスト教主義に基づき、教育勅語に従って」の文言を加えることを決議。	3/25 熊本県下で新形式の中学入試（300 点満点中、身体検査と体操が 200 点）開始。
		4/2,4	学院でも県下中学校新入試形式に準じて入学考査を実施。	
		4	新たに「支那語」が教科課程に加わり、菊川亀次郎（支那語）が就任（～昭和 20 年 3 月）。	4/15 ヘレンケラー女史来日し、「奇蹟の声」で各地を講演。
		5	宇土虎雄（柔道）、アメリカ柔道連盟の招聘により 6 ヶ月間渡米し、柔道の普及にあたった。	5/31 文部省、『国体の本義』を刊行。
		6/1	前日の熊本でのヘレンケラー女史講演（通訳・稲富院長）内容を基に、稲富院長が朝礼説教。熊本市公会堂での講演会後、稲富院長と石松量蔵牧師（熊本教会、全盲）が阿蘇までヘレンケラーに同行。	6/15 第 1 回熊本県下中学校体操大会開催。 7/7 盧溝橋事件勃発により日中戦争開始。 8/24 国民精神総動員実施要綱が閣議決定。9/10 戦時統制三法が公布され戦時経済体制へ移行。
		10/5	「九州学院歌」、10/6 「九州学院健児の歌」が歌われる。学院の精神作興を図るためか。	9/18 軍事後援会発会式が熊本市公会堂で行われる。
		10/13	戊申詔書記念日に稲富院長、「戊申詔書講演」を行う。	矢内原忠雄（クリスチャン・東大教授）辞職に追い込まれる。
		11/3	明治節式典を執り行う。上海戦勝利祝賀の行事に学院生も参加。11/10 国民精神作興週間が始まる。	11/3 熊本市で上海戦勝利祝賀の県官民合同戦捷祝賀会や旗行列、提灯行列が行われる。
		12/12	熊本市で南京陥落記念祝賀会が開かれ、日の丸行列や提灯行列に学院生も参加。	12/6 国民精神総動員大講演会が熊本市公会堂で開かれる。
1938	13			1/17 熊本県は中学校入試の筆記試験を認めないことを決定。
		4/26	「靖国神社臨時大祭」のため東方遙拝。	4/1 第 1 次近衛内閣、「国家総動員法」制定公布。
		4/29	天長節で観兵式。	
		7	県下中等学校生徒の夏季集団勤労作業が開始され、学院生徒も動員された。	6/9 文部省、「集団的勤労作業運動実施に関する件」を通達。6/20 熊本県、各中学校に「集団勤労作業実施要綱」を通牒。
		9/6	配属将校、砲兵中佐・西村氏就任披露。	
		9/18	学院講堂でウエンツ博士の礼拝説教が市三教会連合礼拝（大江教会、熊本教会、神水教会）として行われた。	11/3 近衛首相「東亜新秩序建設」構想を発表。
		10/20	～22 学年毎に修学旅行実施。	10/1～30 熊本商工会議所主催の「支那事変と産業博覧会」が新興博覧会跡で開催。
		10/29	ヒトラー・ユーゲント来熊。学院のブラスバンド、水前寺グラウンドでの歓迎行事に参加	10/28 「武漢三鎮陥落祝賀会」が熊本全市

			し演奏。	民総動員で行われた。
		11/5	紫苑会 30 周年記念会を行う。	12/23 九州女学院に対する御真影と教育勅語謄本の奉戴式が行われた。
1939	14	2/3	「九州学院耐寒夜間行軍」に全校生徒 750 人が参加。松橋まで往復 48 キロを行軍した。	3/23 「宗教団体法」案が衆議院で可決成立。 5/1 熊本陸軍幼年学校が復活し開校式。
		2/6~	国民精神作興強調週間に「銃後ノ国民」としての自覚を促す朝礼説教。	5/12 ノモハン事件。7/8 「国民徴用令」公布。
		5/22	「青少年学徒ニ賜リタル勅語」が下賜され、学院生全員が校庭で東方遙拝。	8/23 「独ソ不可侵条約」調印。9/1 独軍、ポーランドに進攻。9/3 英・仏が独に宣戦布告し、第 2 次世界大戦開始。
		6/7	院長視閲勅語奉読式。	9/28 文部省、中等諸学校入試での筆記試験を廃止。
		6~8	稲富院長、中支及び満州に視察のため出張。学院卒業生の前線兵士を慰問。	10.本田傳喜部長（ルーテル教会）、満鮮、北支の信徒問安と皇軍慰問旅行に出発。
		7/18	「夏期勤労作業ノ概要」を説明。	11/3 宣教 80 年基督教連合信徒大会（於・青山学院）で東亜聖化同盟を結成。
		10/1	熊本市体育協会主催・藤崎宮〜菊池神社往復 50 キロ強歩大会開催。学院生も参加。	
		10/20	靖国神社臨時大祭御祝拝遙拝式、挙行。	
		12/2	軍事教練査閲が行われる。12/9 河内遠足。	
1940	15	2/1	興亜記念日につき野外礼拝。	1/11 津田左右吉、早稲田大教授辞任。津田の著書発禁処分。
		3/10	紀元 2600 年の陸軍記念日に第 6 師団では日露戦争奉天会戦の模擬戦を花岡山で展開し、熊本放送局より実況放送。学院生もラジオの実況に聴き入る。	6/22 文部省、修学旅行を制限する通牒。 9/27 「日独伊三国同盟」調印。ミラーは宣教師会報告で、戦争と国家主義運動の「異常な時代」ととらえる。
		4/13	稲富院長の壮行会を開催。アメリカ合衆国での約半年間に亘る時局講演のため旅立つ。	10/12 「大政翼賛会」発会式。総裁に近衛首相就任。10/15 教育勅語煥発 50 周年記念式典、教育功労者表彰。
		6	渡米中の稲富院長、ローノーク大学より “Doctor of Divinity”（神学博士）の学位を受領。10 下旬、帰院。	10/17 日本基督教連盟の下、青山学院に 2 万人を集めて皇紀二千六百年記念奉祝信徒大会が開催される。
		7/12	全校作業で遠山先生墓地（万日山）清掃。勤労作業が常態化。	11/8 九州女学院長エカードと慈愛園長パウラスが辞任。 11/10 「皇紀二六〇〇年記念式典」、皇居外苑で開催。
		11/10~14	紀元 2600 年奉祝式典が県下各地で行われ、熊本市内でも奉祝歌軍楽行進、旗行列、提灯行列等が続き、学院も全校奉祝ムードに包まれた。	12/11 「大政翼賛会熊本県支部結成奉告祭並に結成式」が熊本市公会堂で挙行。
		12/14	学院はクリスマスを迎える待降節に入る。	
1941	16	1/24	文部省へ学級増（750 名から 1000 名へ）の学則変更認可申請（2/18 認可）。アメリカ一致ルーテル教会からの経常費援助を辞退し、「時局に鑑み外国依存を一擲、敢然独立自給を計る」。しかし、強力なナショナリズムの潮流の中で、教会自体は国体と協調を求めた。	3/1 国民学校令公布。3/3 国家総動員法改正公布。3/10 改正治安維持法公布。4/1 国民学校発足。義務教育年限を 8 年に延長。 4/27 市内各教会合同の日曜学校野外礼拝（九州女学院校庭、100 人）行われる。
		3~5	ミラー主事夫妻、休暇帰国。シリンガー師、解雇帰国。熊本在住の宣教師達、エカード、バック、パウラスら相次いで帰国。	5/27 米国大統領ルーズベルト、国家非常事態宣言を出し、経済封鎖を実施。
		5/3	大政翼賛の歌発表会が熊本市公会堂で行われ、尚綱高女・第一高女生徒らが合唱。学院生徒がブラスバンド演奏をした。	7/21 文部省教学局、『臣民の道』刊行。8/8 文部省、各学校に全校組織の学校報国歌の編成を訓令。
		6/7	野外朝礼の後、「体操大会」を開催。	8/19 熊本県、食糧増産のため農繁期授業廃止日の実施を学校・市町村に通牒。
		9	下旬~11.農作地での勤労作業が続く。	10/18 東条英機内閣が成立。
		10/13	防空退避演習が行われる。	10.ゾルゲ事件。
		11/1	創立 30 周年記念式典挙行。11/3 学院創立 30 周年記念体育大会を開催。当日「明治節」。11/4 弁論大会、詩吟大会。他に「展覧会」、剣道・柔道記念大会。11/7 「30 周年記念音楽会」。	11/5 大本営、連合艦隊に対英・米・蘭作戦準備を命令。

		11/18	~20 勤労奉仕で桑畑開墾に従事。	12/8 ハワイ真珠湾攻撃。アメリカに対し宣戦布告、太平洋戦争突入。
		12/9	学院朝礼で「宣戦詔勅拝読」が行われた。	
		12/24	稲富院長がクリスマス説教。12/26 学院クリスマス礼拝。	12/12 大本営は支那事変を含めた今回の戦争を「大東亜戦争」とした。
1942	17	1	職員生徒 1000 名、配属将校永田中佐の指揮のもと菊池神社往復 15 里（行程 60 キロ）行軍。	1/2 宣戦詔勅が下賜された 8 日を大詔奉戴日と定める。
		2/18	学院でも新嘉波 ^{シンガポール} 陥落祝賀会を開催。	2/15 日本軍がシンガポールを占領。2/23 東条内閣、翼賛政治体制協議会を発足。
		3/12	第 2 次戦捷祝賀日を県下で盛大に祝い宮城遙拝が行われ、学院生徒も藤崎宮に参拝した。	2.大江教会、水道町教会（熊本教会）に併合。
		3	第 27 回卒（158 名）が 5 学年で卒業。	4/1 九州日日新聞と九州新聞が統合し熊本日日新聞となる。東洋語学専門学校（現・熊本学園大）黒髪町宇留毛に創立。
		4/8	県は毎月 8 日の大詔奉戴日を防空教養訓練日とし、学院でも第 1 回防空訓練を行った。	
		4/8	『大江 創立三十周年記念号』発行。	4/30 第 21 回総選挙。翼賛推薦大勝利。 5/20 翼賛政治会結成。 5/26 日本文学報国会が発足。会長に徳富蘇峰が就任。 6/5~7 ミッドウェー海戦で敗北。
		7/7	日中戦争 5 周年記念武道訓練大会が中学生 3000 名を集めて開催され、学院生も参加。	6.ホーリネス系教会一斉検挙。宗教弾圧が行われる。 8/21 閣議で中学を 4 年に、高校を 2 年に短縮する案を決定。 9/21 県教育審議会第 1 回会合を開催し、県の教育是を制定することを決定。
		11/7	稲富院長、熊本市文化報国会（会長・平野龍起熊本市長）発足し生活文化局長に就任。	11/7 熊本市文化報国会発会式を熊本市公会堂で開催。 11/24 第 1 回日本基督教団総会で、部制廃止を決議。
1943	18	3	第 28 回卒（170 名）が 5 学年で卒業。	1.日本基督教団、戦時報国会を結成。
		3/31	九州学院廃止認可。	
		4/1	九州中学校設立認可。「九州學院」を「九州中學校」と改称。ミッションスクール色を払拭。校章も横文字の「KG」から「九學」に変更を命じられる。	4/1 中等学校令施行。修業年限 4 年に短縮、教科書を国定化。九州女学院は「清水高等女学校」に改称。 4/1 「熊本県教育是」の県訓令出る。
		5/3	稲富院長、県大政翼賛会支部常務委員と翼賛壮年団支部顧問を兼務し、県文化委員会幹事に就任。	5/3 大政翼賛会県支部、文化委員会を設置。 5/4 県では菊池寛らを招き、菊池精神発揚講演会を熊本市公会堂で開催。
		5	学院生、農村での春の勤労作業に動員される。	6/25 学生の勤労奉仕を法制化するため閣議で「学徒戦時動員体制確立要綱」を決定。
		9/13	県職業課、飛行場の草刈り作業に熊本市男女中等学徒延べ 15300 名の動員決定。学院生も動員された。	8/5 県、寺院や教会の境内を食糧増産に開放するよう通達。
		9/24	学徒の体育大会が一切禁止となり、学院では代って体力検査が行われた。	
		秋	学院生、勤労奉仕団として出勤し稲刈りの勤労作業に奉仕した。	12/21 出陣学徒壮行大会が明治神宮競技場で行われ、NHKが実況中継した。
		12	稲富院長、中央協力会委員に就任。	
1944	19	2/6	県下中等学校生徒軍航空志願者第 1 次合宿滑空訓練を帯山練兵場で開始。九州中学校もグライダーを 2 機所有、参加。	1/18 閣議で緊急学徒勤労働員方策要綱を決定。年間 4 ヶ月動員継続可能となる。 3/7 閣議で学徒勤労働員を通年実施と決定。
		3	第 29 回卒（176 名）が 5 学年で卒業。	
		4/3	「神武天皇祭」に菊池神社まで往復行軍、参拝。4/4 午前中始業式、午後入学式。	
		4/21	稲富院長、県翼賛壮年団長に就任。「自らに負わせられる十字架として」負い通した。	

		5/14	増産作業、校庭畑化。	
		6/1~	全校生徒が勤労作業に動員される。4,5年生は鹿児島県鹿屋の海軍航空隊に動員され、6/3出発。1~3年生は各地の麦刈勤労に動員された。	6/19 マリアナ沖海戦で日本海軍は空母・航空機を大半を失う。
		7/4	勤労働員されていた4年生が鹿屋から帰校。	7/7 サイパン守備隊玉砕。7/18 東条内閣総辞職。
		8/24	鹿屋での勤労働員から帰ったばかりの4,5年生が花房飛行場の整地に動員される。	8/3 グラム島守備隊玉砕。
		9	第2回学徒動員令により九学の4,5年生も健軍・三菱重工飛行機工場に動員される。1~3年生は校庭で防空壕の整備、からいも・麦作りに励んだ。	10/24 レイテ沖海戦で連合艦隊は主力を失い、壊滅状態となる。
		?	県では学校防空の徹底方を各学校長宛通牒。米軍の焼夷弾に対する防空態勢強化のため寄宿舎の天井板をはずす。	11/21 在中国米軍機B29・80機が九州西部に襲撃。県下最初の爆弾投下となる。 11/24 マリアナ基地のB29・70機が東京を初爆撃。
1945	20	2/7	4月からの九州中学校生徒定員変更が認可される。修業年限が4年制になるための措置。	1/20 大本営、本土作戦大綱を決定。
		3	県で学校の兵器工場化の決定が下され、九学も済々黌・熊中・鎮西・尚綱とともに体育館を工場化する準備が進められた。	2/4~ヤルタ会談(米英ソ巨頭会談)。 3/9,10 東京大空襲。3/17 硫黄島守備隊玉砕。3/18,19 米艦載機、県内各地を空襲。
		3/6	九州中学校実務科設置並びに定員変更の件認可。	3/18 国民学校初等科を除き授業1年間停止(決戦教育措置要綱)を決定。4月実施。
		3/31	4,5年生同時卒業式。この年度から修業年限が4年制となったため、5年生(第30回卒,169名)と4年生(第31回卒,227名)が同時に卒業し、ほとんど実務科に進学。	4/1 米軍が沖縄本島上陸を開始。4/12 米大統領ルーズベルトが亡くなり、トルーマン副大統領が昇格。
		4/1	九州中学校に実務科(修業年限1年)を設置。 第1学年5組250名、4学年制、全定員1000名体制で始まる。	4/17 B29・70機が県下に襲撃。
		4	九州中学校では授業はできる限り継続されたが、連日空襲警報のため授業中止が続いた。	4/19 県は「決戦教育措置要綱」に従い、国民学校初等科以外は原則1年間授業停止を公示。
		6/24	県翼賛壮年団・青年団の解団式を藤崎宮で挙行。稲富肇が主導した。	5/5 熊本市電・健軍線(水前寺~健軍)が開通。 5/8 ドイツが無条件降伏。
		7/1	空襲警報とともに居残りの1.2年生、校庭の防空壕に退避。構内東南の体育館に焼夷弾が落ち、稲富院長は生徒と共に消化・防火作業に当り延焼を防いだ。	5/17 鈴木内閣、大政翼賛会解散決定。 5/22 文部省、「戦時教育令」を公布。全学校・職場に学徒隊を結成。
		7	「みどり幼稚園」の園舎(ルーテル神学校発祥の地)は焼け残り、焼け出された田中寅雄一家が住み、石松牧師は慈愛園から通って、7/8(日)から水道町教会の礼拝を守った。	6/18 沖縄の「ひめゆり部隊」戦死。 7/1(日)水道町教会(熊本教会)、熊本大空襲で焼失。石松量蔵牧師は慈愛園に逃れる。宣教師館(新屋敷)も焼失。
		7/10	空襲による敵機の機銃掃射を受け、生徒1人が犠牲となる。	8/6 広島に世界最初の本爆投下。8/8 ソ連、対日宣戦布告、進攻開始。8/9 長崎に原爆投下。
		8/10	熊本市第2次大空襲により九学も機銃掃射による被害(死者1、負傷1)を受ける。本館院長室にあった「学院長杯」を弾丸が貫通。	8/15 昭和天皇の「戦争終結詔書」玉音放送、曾我県知事も知事告諭を発した。
		9/4	県は新生日本を議する第1回総会を開催。稲富肇は戦後対策委員会の一員となり、曾我県知事や由良内政部長を援け、戦後の混乱の收拾に尽力。	8/28 連合軍司令部(GHQ)を横浜に設置。8/30 連合軍最高司令官マッカーサー厚木飛行場に降り立つ。9/2 東京湾上の戦艦ミズーリー号艦上で日本側全権、降伏文書に署名・調印し、太平洋戦争終結。
		9/11	九州中学校、始業式。新生日本中学教育の開始。 9/12 通常授業を開始。	9/15 文部省、「新日本建設ノ教育方針」を公表。戦時教材の削除を指示。
		9/15	実務科解散式(1時限)。	10.石松牧師、九州地方の牧師たちに手紙を書いて慈愛園に招く。
		9/18	戦後初の「定例中等学校長会」が県立第一高等女学校で開催。	10/4GHQの指令により、治安維持法・特高廃止、政治犯釈放、等が実施され、信
		10/5~15	熊本に占領軍約5000名が進駐し、陸軍幼年学校跡地(清水町キャンプ・ウッド)等に入る。	

			戦後対策委員会の主導者・稲富肇も石坂市長らと出迎える。	教の自由の制限が解かれる。
		10	九州中学校、御真影を焼却し、奉安殿を取り壊した。	10/15「文部省訓令第八号」発布により「訓令第十二号」無効となる。
		11	体錬科武道が全面中止になる。	10/22GHQ、「日本教育制度に対する管理政策」を指令。軍国主義的・超国家主義的教育を禁止。
		11/3	熊本文化協会が発足し、初代会長に九州中学校長・稲富が就任。	11/2GHQ、財閥資産凍結・財閥解体を指令。日本社会党結成。
		12	生徒児童の挙手の敬礼と教科書の削除紙片の処理に関して徹底するよう県内政部長より通牒。	12/9GHQ、農地改革を指令。
		12	戦禍を免れたブラウン記念礼拝堂でキリスト教連合のクリスマスが行われる。県も基督降誕祭を奨励し、12/25を休業とするよう通牒。	12/28「宗教法人令」が公布され、信教の自由が完全に保障される。
				12/31GHQ、「修身・日本歴史及び地理の授業停止と教科書回収に関する覚書」を発し、地歴授業停止を命令。
1946	21	1/9	稲富肇、九州中学校長を辞任。	1/1 昭和天皇、自ら神格化を否定する詔書による人間宣言。
		1/15	1月の定例中等学校長会で、マーフィー軍政官が稲富校長の通訳によって「米国の教育」（民主主義教育）について講話。	1/4GHQ、軍国主義者の公職追放、超国家主義団体の解散を指令。
		2/11	「紀元節」祝賀式を従来通り挙行。2/16 学校で戦没者「慰霊祭」を執り行なう。	2/23 文部省、中等学校を元の5年制に、高校・大学予科を3年制に復活。
		3/7	川瀬清校長、事務取扱認可。理事長に三浦冢就任（～昭和26年3月）。	4/1 第1次農地改革全面実施。
		3/26	卒業式が挙行され、旧制中学第32回卒（174名）が4学年（17年4月入学）で卒業、5学年に70名が残った。寄宿舎食堂で新旧院長歓送迎会開催。	4/1 熊本県体育協会設立。県陸上競技協会、県卓球協会創立。
		4/1	県体育協会会長に金栗四三、副会長に宇土虎雄（学院・柔道）・飯星良弼（熊本教会員）、理事長に吉田三二が就任。	4/10 新選挙法による第22回衆議院議員選挙実施。
		5/1	川瀬清、正式に九州中学校長就任。（42歳）	4/24 九州在住の教職15人が熊本（慈愛園）に集まり、ルーテル教会再建に着手。
		5	池宮英才（社会・熊本教会員）、九州学院ラグビー部を創設。	5/3 極東国際軍事裁判所が開廷され、東条ら28名のA級戦犯容疑者が起訴された。
		6/29	GHQ、全学校の地理授業再開を許可し、授業停止を解除。10/12 日本史も許可。	5/22 第1次吉田内閣成立。
		7/11	食料事情の悪化や引揚者の増加などで従来より10日早く終業式を実施。	6/9 日本基督教団全国基督教徒大会を青山学院で開催。6/10 鷲宮の神学校（日本基督教団東部神学校、旧日本ルーテル神学校）で「ルーテル会」を結成。7/23～25 清水女学校（旧九州女学院）で九州夏季修養会を開催。
		7/27, 28	県中等学校野球大会が復活。	7/13 進駐軍の指令で歩行者の右側通行を実施。
		11	学院に帰任したミラー、理事に再就任。	8/14 ミラー来日。8/23 来日したエカードとともに焼失していた博多教会会堂を視察し、熊本へ来る。10/14 ミラー夫人熊本へ向かう。
		11/4	九州中学校の授業料変更（授業料年額180円から300円に）認可される。	10/8 文部省、教育勅語奉読の廃止、勅語・詔書謄本などの神格化廃止を通達。
		12/1	財団法人「九州中學校」を財団法人「九州學院中學校」と改称。	11/3 日本国憲法公布。
				11/8 政府、公職追放基準の要項を発表。追放範囲を地方公職まで拡大。
				11/30 文部省、六・三・三教育体制を決定発表。
1947	22	1/10	九州中学校を九州学院中学校と改称認可。	1/3 スタイワルト、1/10 モード・パウラスらが日本に再渡来。
		1	ミラー、学院主事に再就任。	1/20 全国都市児童に学校給食始まる。
		1/23～	日本福音ルーテル教会再建準備総会が九州学	

		24	院中学校と清水女学校（旧九州女学院）を会場として開催。日本福音ルーテル教会を組織。	1/31GHQ、「2・1ゼネスト」に対し中止を命令。
		2/3	ミス・ハンナ・リデル女史 15 年忌追悼記念会が九州学院ブラウン記念礼拝堂で行われた。	2/1 県アマチュアボクシング協会設立。 3/21 県柔道協会設立。会長・宇土虎雄。
		3/12	学則第 1 條を「本校ハ基督教主義ニ基キ中等学校令ノ本旨ニ従イ高等普通教育ヲ施スヲ以テ目的トス」への変更が認可される。	3/31 文部省、教育基本法、学校教育法を公布。六・三・三・四制を規定。
		3	旧制中学第 33 回卒（72 名）が 5 学年（17 年 4 月入学）で卒業。	4/1 新学制により小学校、新制中学校が発足。「九州女学院中学校」（旧・清水女学校）設立。三浦冢（財団法人九州学院中学校理事長、ルーテル神学校教授）院長に赴任。
		4/1	九州学院中学校の「私立中学校設置の件」が認可される。4.新制中学校に 150 名が入学。	4/1 県サッカー協会、バスケットボール協会、軟式庭球協会創立。
		4	大江教会、熊本教会から分離独立し、九州学院のブラウン記念礼拝堂で再出発。	
		5/3	熊本では新憲法祝賀の旗行列が行われ、学院生も旗行列に参加。	4.みどり幼稚園での礼拝（150 名）を基にした市内四つの集会を教会として独立。
		8	内海季秋牧師（第 10 回卒）が東京の小岩教会から大江教会に着任。九州学院チャプレンの職務を兼務。敬愛会の活性化を図る。	みどり幼稚園の集会を熊本教会（牧瀬雄吉）、九州学院の集会を大江教会（内海季秋）、九州女学院の集会を室園教会（長沼三千夫）、慈愛園の集会を神水教会（石松量蔵）として牧師の人事配置が行われる。
			当時の九州学院敬愛会の主なメンバー：古財克成、松本教義、藤本義和、内海革、内海望、小泉潤（ルーテル教会牧師）、久保木勤、紫垣正良、岩崎国春、柏尾誠之、鏑幹八郎、高田勇士、光永一三、大塚博司、安富信博、川瀬淳。他に教会員となった井上鉄三、上野輝彌、室原博、長尾和彦（熊大生）。	5/3 日本国憲法施行。 8/15 県ラグビーフットボール協会創立。 10/1 県ハンドボール協会創立。 11/1 熊本 Y M C A 偕進会が発会。
		8	宇土虎雄（柔道）、公職追放令該当者の嫌疑がかけられるが川瀬院長らの証明で晴れる。	11/12~14 日本福音ルーテル教会の臨時総会を九州学院と九州女学院で開催。日本基督教団離脱を声明。
		10/27	新学制移行に伴い、県教育文化部長より「校歌」の提出が求められる。歌詞一部改正か。	
1948	23	3	旧制中学第 34 回卒（148 名）が 5 学年（17 年 4 月入学）で卒業。新制中学第 1 回卒（299 名）が 3 学年（20 年 4 月入学）で卒業。	1.マッカーニー夫妻、米国から九州学院に赴任。ミラー、九州女学院財団理事長に就任。
		4/1	学制改革により九州学院高等学校設置が認可。（修業年限 3 ヶ年、全日制普通科、生徒定員 450 名）。 院長川瀬清、主事ミラー、牧師内海季秋、〔高等学校〕教務主任池永春生、専任教師古坂剛隆以下 27 名、講師 9 名、書記 4 名、生徒総数 540 名。〔中学校〕教務主任石村盈、専任教師田中寅雄以下 24 名、講師 5 名、書記 4 名、生徒総数 619 名。 「九州学院中学校学則」および「九州学院高等学校学則」施行。	2/10 高等・専門学校進学志望者に対し進学適性検査を一斉に実施。 2/26 九州学院の弓道場を移築して熊本教会の牧師館が落成。牧瀬牧師着任。 3/25 文部省、キリスト教系・女子系を中心に公私立 12 大学を最初の新制大学として認可。同志社大、関西学院大、東京女子大、津田塾大、ほか。
		4/8	九州学院大学設立委員会を設置し、委員長・三浦冢が設立予算書を作成し、常議員会長・岸千年に提出。	4/1 県高校体育連盟、高校野球連盟、テニス協会が創立。 4/20 県下 43 校の新制高校が一斉に開校。
		5/10	「財団法人九州学院中学校」を「財団法人九州学院」に名称変更。	6/19 衆参両院で教育勅語・軍人勅諭・戊申詔書・青少年学徒に賜わりたる勅語の失効確認・排除に関する決議案を可決。
		6/3	第 1 回ララ物資を受配。	6/22.1 府県 1 大学設置など国立大学設置の 11 原則を発表。
		6/12	熊本 Y M C A 設立第 1 回発起人会を九州学院図書館で開催。学院関係者多数出席。	6/28 全国高等学校体育連盟結成。全国中等学校優勝野球大会は全国高等学校野球選手権大会と改称。
		6/23	P T A が組織され発足。	10/30 文部省、高校用教科書『民主主義』上を刊行。
		10/3	第 2 回ララ物資を受配。	

		12/4	県下高校駅伝競走大会が開催され、大会役員に重武・淵田両教諭が依嘱される。	11/1 熊本県教育委員会が発足。 11/20~ルーテル教会再建第 1 回本教会総会開催(於・博多教会)。新議長に平井清、神学校校長に岸千年、教育部長にミラーを選出。教育部員に川瀬清を指名、内海季秋は「るうてる」主筆、池永春生は式文改定委員となる。稲富肇(大阪教会牧師)が講演。 12/12 熊本 YMC A 創立総会を県立熊本女子高校(現・第一高校)講堂で開催。
		12/5	舎監の松岡幹三(斎藤勝喜の後任)、牧師職に復帰して箱崎教会に赴任。松岡の後任・第 5 代寮監長には栗林虎彦(国語・剣道)が就任。	
1949	24	1/5	第 3 回ララ物資を受配。	1/31 第 1 回県文化功労者に、横井小楠、北里柴三郎、野田寛、友枝為城の 4 氏を決定。
		1/19	川瀬院長、県知事に対し「九州学院英語専攻科」設置認可を申請。	
		3	旧制中学第 35 回卒(92 名)が 5 学年(18 年 4 月入学)で、新制高校第 1 回卒(105 名、18 年 4 月旧制中学入学から 6 年目)と、新制中学第 2 回卒(274 名)が 3 学年(21 年 4 月入学)で業式。	3/7 G H Q 経済顧問ドッジ公使、ドッジ・ラインを打ち出す。
		3/14	学院の P T A、熊本軍政府教育部長より公的に認定。	3/12 熊本総合大学の 9 月開校決定。3/16 県立熊本女子大学の設置決定。
		4/1	九州学院高等学校附設の 英語専攻科を開科 。	4/5 軍政官教育課長ピーターゼンの指導により新学期から週 5 日制授業開始。
		4	学院も週 5 日制で授業実施。	
		5/30	ミラー、慈愛園理事長として昭和天皇の行幸を仰ぐ。	4/25 G H Q、日本円に対する公式為替レート(1 ドル 360 円)を設定し実施。日本社会、一挙にデフレ不況に転化。
		7/1	水泳部創部。	5/2 県立熊本女子大学第 1 回入学式。
		7/17	古坂剛隆、九州学院を去り久留米教会の牧師として赴任するため、図書館で送別会。	6/1 郵政省、国鉄、専売公社をスタート。労働組合法等を公布。国立新制大学 68 校発足。
		8/12	第 4 回ララ物資を受配。	7/5 下山事件 15 三鷹事件。8/17 松川事件。
		9	院長川瀬清は伝道局の招聘で約 1 年間米国に留学。半年にわたる講演旅行をなす。陸上競技部が全国インターハイで優勝し、秩父宮杯を獲得。	9/1 国立熊本大学第 1 回入学式。 9/10~共産党員・国鉄・東芝労組員ら逮捕。 9~10.教員のレッドパージ進行。 12/15 私立学校法公布。
1950	25	2	川瀬院長、コロンビア大学に学び、10 月帰朝。	1/1 マッカーサー、年頭の辞で日本国憲法は自己防衛の権利を否定せずと声明。
		3	新制高校 2 回卒(138 名、19 年 4 月旧制中学入学から 6 年目)と、新制中学 3 回卒(155 名)が卒業。	3/15 私立学校法施行。
		4	日本基督教神学専門学校・教団神学校(鷺宮)、「 日本ルーテル神学校 」として再開。	4/19 メソジスト熊本三年坂教会、熊本市九品寺に教会堂を献堂し、熊本白川教会(日本基督教団)となる。
		4	この年度も週 5 日制で始業。中学校入学者が前年比 130 名も激減。1 学年 156 名の 3 クラスとなる。	4/25 熊本県庁本館が花畑町に落成。 5/2 日本福音ルーテル熊本教会(水道町)新会堂、献堂。
		4/17	熊本短期大学、初の入学式。学院卒 16 名入学。	6/25 朝鮮戦争勃発。レッドパージ拡大。
		7/5	第 5 回ララ物資を受配。	8/10 警察予備隊令公布、即日実施。 11/3 文化の日に「君が代」復活。 12/13 地方公務員法公布。
		8	陸上競技部は秩父宮杯第 3 回全国高校陸上競技大会で優勝し、秩父宮杯を獲得。中原康麻呂部長の指導で全国初優勝。	
1951	26	3	英語専攻科開科。 新制高校 3 回卒(189 名、20 年 4 月旧制中学入学から 6 年目と 23 年 4 月新制高校入学から 3 年目)と、新制中学 4 回卒(150 名)が卒業。	1/1 マッカーサー、年頭の辞で集団安全保障と講話を強調。北朝鮮・中国軍が 38 度線を越え南下。 2/12 熊本市など 5 市の小学校で給食開始。
		4/1	私立学校法改正施行に伴い、 財団法人を学校法人に組織変更認可 。初代理事長に山内六郎	朝鮮戦争特需景気で産業界は活況を呈す。日本経済は急激な発展を遂げる。

		(~昭和 38 年 3 月)、理事に平井清、川瀬清、ミラー、三浦冢、福山四郎、福田令壽、監事に藤崎吉藏、徳永利雄、評議員長に三浦冢、評議員に平井清、川瀬清、ミラー、福山四郎、福田令壽、池永春生、田中寅雄、井芹貞安、遠山不覇夫、野上進、藤井利七、渡邊幸義、多賀辰之、加地八郎。学院主事ミラー、高校主事兼教頭池永春生、中学校主事田中寅雄。教職員数専任 38 名、嘱託 7 名。中学校 9 学級 420 名、高等学校 11 学級 560 名、総計 980 名。	3/5 無着成恭編『山びこ学校』刊行。
		4/7 昭和 26 年度入学式挙行。中学 82 名、高校 83 名入学。4/9 始業式。柔道部と剣道部復活。(終戦後、体錬科武道廃止により休部状態であった)。	3/7 北朝鮮・中国軍、ソウルを奪還。 3.世界的伝道者スタンレー・ジョーンズが来校して伝道をし、250 名の決心者を出して宗教活動は一段と盛んになった。 4/3 宗教法人法公布。 ルーテル教会、他教派とともに日本基督教団を離脱。
		7/1 ミラー定年でアメリカに帰国するため送別礼拝を行う。(出席者 183 名、15 名が受洗) 帰国直前までモーニングウォッチ(九学生徒のための聖書研究)を宣教師宅で行った。九州学院主事の後任にはマカトニーが就任。	5/1 北海道などの 9 電力(株)発足。電力再編成完了。 5/5 児童憲章制定。
		7/10 ミラー博士夫妻、午後 3 時 40 分熊本発東京行き急行「霧島」で帰国。滞日 44 年、在熊 31 年。勲三等瑞宝章が授与された。	6/21 日本、国際労働機関 (ILO) に加盟。ユネスコに加盟。
		10/8~ 遠山週間特別伝道が行われる。	7.持株会社整理委員会廃止政令公布。
		10/29 ~ 創立 40 周年記念式典挙行。記念礼拝(説教平井清)、物故職員、卒業生慰霊祭、同窓生大会(謝恩会)、宗教講演会(講師:福岡女学院牧師本田正一)、弁論大会、祝賀音楽、演劇会、記念大運動会、文化祭を催した。記念事業として中学校新校舎が竣工した。	9/8 吉田内閣、サンフランシスコで「対日平和条約」、「日米安全保障条約」に調印。 9/10 ベネチア映画祭で黒澤明監督の「羅生門」がグランプリ受賞。
		11/18 新任メナルデー夫妻を迎える。	10/24 日本社会党、両条約をめぐり左派・右派に分裂。
1952	27	1/25 『創立四拾周年記念誌 KYUSYU GAKUIN 1951』発行。	1/16 復興金融金庫解散。
		3/10 新制高校 4 回卒(202 名)が 6 年目(21 年 4 月旧制中学入学から)で卒業。	2/28 日米行政協定調印。
		3/20 新制中学 5 回卒(160 名)が卒業。	3/29 北米一致ルーテル教会総会議長フランクリン・フライ博士、日本福音ルーテル教会伝道開始 60 周年記念総会出席のため来日。日本各地で記念集会開催。
		3 末 [統計] 教職員教院長以下専任 34 名、嘱託 10 名、書記 3 名、助手 7 名、使丁 3 名。中学校 9 学級 409 名、高等学校 11 学級 563 名、合計 972 名、卒業生総数 5354 名。	4/7 マッカトニー夫妻を米国に送る。 4/28 「対日平和条約」と「日米安全保障条約」が発効、占領終結。日華平和条約調印。
		4/15 フライ博士講演をブラウン記念礼拝堂で開催。午後は南九州地区主催合同礼拝を開催。	5/1 血のメーデー事件。
		8/16~ 19 日本基督教教育同盟九州地区夏季学校を阿蘇湯の谷で開催。九州学院・九州女学院が当番。	5/3 県平和条約発効記念式が熊本市公会堂で開催される。同日、徳富蘇峰帰郷。 5/16 徳富蘇峰翁歓送市民大会が白川公園野外音楽堂に 1 万人を集め開催される。
		9/24 エリス宣教師、英会話の授業を開始し担当。	7.エリス宣教師、農村伝道の任命で熊本着任。ミラー夫妻が居住していた宣教師館に居を構える。
		10/21 ~23 第 3 回文化祭開催。10/25 体育祭開催。	7/21 破壊活動防止法・保安庁法公布。
		11/13 秋季特別伝道開催。	8/14 国際通貨基金 (IMF)・世界銀行に加盟。
1953	28		2/1 NHK、テレビの本放送開始。
		3/7 高校 5 回卒(159 名)が卒業。	2/28 吉田首相「バカヤロー」解散総選挙。
		3/14 中学 6 回卒(158 名)が卒業。	4/2 日米通商航海条約調印。
		4/8 昭和 28 年度入学式。	4/19 衆議院選挙、4/24 参議院選挙、九州学院図書館が投票所となる。
		6/1 内海季秋、東京の羽村教会に転任。後任に俵	5/5~7 ルーテル教会総会で日本福音ルー

			貢が 6/3 久留米教会から赴任。九州学院チャプレンを兼任。6/4 俵牧師就任式。	テル教会と福音ルーテル教会（フィンランド系）の再合同が実現。
		6/21	俵の就任式後、歓迎会が九州学院図書館で行われた。	5/21 第 5 次吉田内閣成立。
		7/1~5	豪雨大水害のため臨時休校。7/6~10 校舎内外の清掃。7/11 終業式。	6/24~26 熊本記録的集中豪雨のため、白川など氾濫（ 熊本大水害 ）。
		8/24	2 学期始業式。8/27~29 延期中の 1 学期末考査。	7/17 日本プロテスタント宣教 100 年記念運動総委員会開催（運動の準備開始）。
		10/1	新装グラウンド献場式を挙行。	8/22 日本基督教青年会同盟成立 50 周年記念会。
		10/15~16	第 4 回文化祭。10/17 体育祭が新装グラウンドで開催。	8/28 民間テレビ放送開始。
		11/5	中 3 と高 2 の修学旅行団出発。	9/1 独占禁止法改正公布。
		11/10	進学適性検査（大学進学志望者対象全国一斉検査）のため学院生徒、熊本大学工学部で受検。	
		11/22	NHK 主催高校合唱決戦大会が学院チャペルで開催、中継放送された。	戦後GHQにより禁止されていた武道が解禁され、11/8 蔵前国技館で第 1 回剣道全日本選手権大会が開催される。
		12/3	クラブ活動としての剣道部、活動が解禁となり再開。指導者：栗林虎彦、紫垣正弘。	
		12/22	学院クリスマス、学院チャペルで開催。	12/24 奄美諸島返還の日米協定調印。
1954	29	1/19	創立 43 年記念中高合同礼拝開催。記念講演：牧瀬雄吉熊本教会牧師。終了後、校内マラソン大会開催。	1/15 憲法擁護国民連合結成。
		3/6	「みどり幼稚園」創立 30 周年記念式典開催。	3/1 米国ビキニ水爆実験で第 5 福竜丸被災。
		3/25	中高入学試験を実施。高校 220 名、中学 100 名を合格発表。中学前年比 50 名生徒減少。	3/24 日本基督協議会、宣教 100 年記念運動東京宣言大会を開催。
		4/1	新屋敷の「みどり幼稚園」（園長：田中君代）が宗教法人から 学校法人九州学院に移管 され、「九州学院みどり幼稚園」となる。園長に川瀬院長が就任し、田中君代は主任となる。	4/30 福山猛編纂『日本福音ルーテル教会史』発行。
		4/1	高校生定員を 450 名から 900 名に、中学生定員を 450 名から 500 名に増員。	5/14 教育 2 法（教員の政治活動と政治教育禁止）可決。6/3 公布。
		5/26~29	第 5 回文化祭開催。5/29 体育祭開催。紫・白・黄・赤の 4 団（中 1・2 クラス、中 2・2 クラス、中 3・2 クラス、高 1・5 クラス、高 2・6 クラス、高 3・7 クラス）。	7/1 防衛庁・陸海空自衛隊発足。 8/8 原水爆禁止署名運動全国協議会結成。
		10/7	秋季特別伝道講師として稲富肇牧師（大阪教会）来校。10/7~9 中高特別伝道講演会、PTA 総会講演会、敬愛会主催伝道集会、遠山先生墓参が催された。	8/15~31 第 2 回世界教会会議、米国エヴァンストンで開催。賀川豊彦、小崎道雄、村田四郎、斉藤惣一ら出席。
		12/12	グリーンクラブ発表音楽会、学院チャペルで開催。	9/26 青函連絡船洞爺丸転覆。死者・行方不明約 1700 人。
		12/22	学院クリスマス開催（午前：中学・高 1、午後：高 2・3）。	12/1 日本基督教団讃美歌委員会『讃美歌』刊行。
1955	30	1/19	創立 45 周年記念講演会（講師：山内六郎牧師）を開催。	1/15 私学三法制定 5 周年記念式典が熊日 4 階ホールで開催される。
		4/8	昭和 30 年度入学式挙行。4/8 始業式後、高 1 英語組分考査を実施。	5/27 ヘレンケラー 3 度目の来日。
		5/18~	第 6 回文化祭開催。	6/25 俵、大江教会牧師退任。8/8 後任牧師が決まらないまま、俵は下関教会に転任。
		6/25	俵の後任として チャプレンに町野洋牧師（聖書）が就任 （～昭和 33 年 11 月）。	8/6 第 1 回原水爆禁止世界大会（広島）。
		10/8	英語弁論大会を開催。	8/12 世界キリスト教青年会同盟創立 100 周年世界大会（フランス）に斉藤惣一出席。
		11/9	稲富先生追悼式 を学院礼拝堂で挙行。終了後、図書館で追憶会・晩餐会を開催。	10/23 稲富肇牧師（第 2 代院長）召天。
		11/24	九州学院前院長故稲富肇先生慰霊吟詠大会を学院講堂で開催。11/26 図書館で日本 Y M C A	11/1 大江教会、主管者代理をエリス宣教師とし、実務を町野洋牧師（学院チャプ

			総主事齊藤惣一、熊本市長林田正治講演会を開催。	レン) に依嘱。
		12/18	第7回グリークラブ発表会を学院講堂で開催。同日、第4回高校演劇コンクールが熊本公会堂で開催され、学院演劇部は「男の家」を上演。	11/15 自由民主党結成。日米原子力協定調印。
		12/22	学院クリスマス、午前：中学・みどり幼稚園、午後：高校を行う。	
1956	31	1/19	三浦冢九州女学院長を講師に創立記念講演会を開催。	1/1 原子力委員会発足。
		1/29	熊本市公会堂で熊本バンド80周年記念会が開催され、学院合唱団・ブラスバンドが出演。	2/5 大江教会総会で、町野牧師を主管牧師として招聘することを決定（在任～昭和51年3月）。
		1/30	潮谷総一郎慈愛園長による熊本バンド記念講演会を学院講堂で開催。	2/19 『週刊新潮』創刊。週刊誌ブーム起きる。
		3/1	昭和30年度高校第8回卒業式挙行。	3/8 地方教育行政の組織および運営に関する法律案ほか（教育3法）国会提出。
		3/17	昭和30年度中学第9回卒業式挙行。	
		4/10	昭和31年度入学式挙行。4/11 始業式。中学：各学年2クラス、高1・6クラス、高2・3各5クラス。	4/19 衆議院本会議（鳩山一郎内閣）が新教育委員会法案をめぐる混乱。翌日、議長職権による「暁の国会」で同法案可決。
		5/30	ブラウン記念礼拝堂増築の件でヴォーリズ氏らが来訪。11/17にも来校し、増改築の下検分をした。	5/1 水俣病、公式確認。
		6/13	中高合同の弁論大会を開催。	6/30 地教行法・新教育委員会法公布。
		7/21~	3班に分け8泊9日でワンダーフォーゲル（南九州1周自転車旅行）を実施。	7/1 気象庁の設置。
		12/9	第8回九州学院音楽部発表会（グリークラブ・器楽部）。12/21 学院クリスマス（同前年）。	10/19 日ソ共同宣言。国交回復。
				10/29 スエズ戦争（第2次中東戦争）。
1957	32	1/25	創立記念講演会（講師：竹内愛二関西学院大学教授）開催。川瀬院長、「九州学院の教育目標 その具体的人間像」を配布、確認。	12/18 日本、国連に加盟。この年は（神武景気）（設備投資ブーム）に沸く。
		3/1	第9回高校卒業式挙行。283名が卒業。	1/30 「熊本バンドを憶う会」が熊本市大洋文化ホールで開催され、学院合唱団と関係者が参加。
		3/29	第10回中学卒業式挙行。98名が卒業。	3/25 欧州経済共同体（EEC）・欧州原子力共同体（EURATOM）条約調印。
		3	高校入学考査を公立高校と同日に実施。受験者が前年比200名以上減少。	
		5/18	体育祭開催。	5/18 株価大暴落。
		5/23	マクマフィー氏（英語）離熊、帰米。	
		7	九州学院教職員組合が結成される。	8/1 在日米地上軍撤退開始発表（58.2.撤退完了）。樺太より最後の引揚船（興安丸）。
		?	学院講堂・小集会室増新築工事（ステージ・控室）竣工。	9/2 国際ペン大会、東京で開催。
		9/20~	文化祭開催。コーラス部・器楽部演奏、演劇部上演、弁論大会（学院長杯争奪）等、盛会。	10/1 日本、国連安全保障理事会非常任理事国に選出される。
		10/9	遠山参良先生昇天25周年記念日に遠山先生について学び、午後全校で万日山に墓参。	10/4 世界最初のソ連の人工衛星スプートニク1号打上げ成功。
		10/10~12	秋季特別伝道（講師：相浦忠雄関西学院大学教授）。	12/6 日ソ通商条約調印。
		11/3	故遠山参良先生、熊本県近代文化功労者として表彰される。遠山先生顕彰祝賀会を開催。	
1958	33	1/10	池永春生が健康上の理由で教頭を辞任。2/11~入院長期欠勤。1/13 中島秀継が教頭に就任。	1/31 米人工衛星エクスプローラー1号打上げ成功。EEC発足。
		3/14	中高同時に入学考査実施（公立高入試日）。高校257名、中学91名の合格者を発表。	3/9 関門トンネル開通。
		4/11	昭和33年度中高入学式を学院講堂で挙行。中学93名、高校344名（含87名内部進学）転入生12名が入学。	3/18 文部省、小中学校〈道徳〉実施要綱を通達。
		5/24	体育祭開催。7/16~19 中学全校阿蘇キャンプ。	4/28 東京都教組が「勤評反対10割休暇闘争」に入る（7/26 東京都教育委員会が勤評闘争の指導者を処分）。
		8/25	高校新校舎（鉄筋コンクリート2階建）起工	8/15~16 勤評反対和歌山国民大会で、警

			式。	官隊と衝突、負傷多数。
		9/19~	学院文化祭開催。10/9~11 秋季特別伝道。	10/4 安保条約改定交渉開始。
		11/24	前任の町野牧師（大江教会）に代わり、三浦義和牧師が初代学院専任チャプレンとして着任。12/4 三浦義和チャプレン就任式。	11/1 東京一神戸間特急こだま運転開始。
		12/20	学院クリスマス（午前：高校、午後：中学）。	12/1 1万円札発行。
1959	34	1/29	第48回創立記念式・新校舎落成式を学院講堂で挙げる。高校新校舎は昭和37年本館（1号館）竣工後、中学校舎として使用。	12/23 東京タワー完工式。
		4/11	昭和34年度中高入学式挙げる。中学102名、高校343名、転入学6名が入学。	1/1 メートル法実施。
		5/30	体育祭開催。	1.キューバ革命。NHK、教育テレビ開局。
		6/19	学院チャプレン三浦義和牧師を送別。後任にデビッド・ゼ・ホー宣教師が就任。	4/10 皇太子（明仁親王）結婚式。
		10/9~	学院文化祭。創立50周年へ向けて50年史写真展を開催。	4/11 慈愛園長モード・パウラス女史が帰米。
		12/1	「中三進学査定考査」を実施。12/7 判定会。	5/30 熊本商大二部、商大附属高校新設。
		12/2	学院の授業時間を45分に変更。部活・課外に便宜を図った。	5.大江教会堂建設募金委員会結成。
1960	35	2/20	校内駅伝競走大会を全校で実施。熊本市及び郊外コース。	7/5 斉藤惣一、召天。
		4/9	昭和35年度中高入学式挙げる。中学156名（3クラス）、高校323名（6クラス）、転入学5名が入学。1クラス50名以上。	9/26 伊勢湾台風（死者・不明5100余名）。
		4~	国体マッゲーム練習に秋季大会開会式典直前まで高2が参加。	10/31 福音ルーテル教会宣教100年記念礼拝。
		5/22	故斉藤勝喜の葬儀が大江教会によって学院チャペルで行われる。	11/27 安保新条約反対請願デモ隊、国会構内突入。
		6/10	藤井浩牧師学院チャプレン就任式（司式：山内六郎牧師、於：ブラウン記念礼拝堂）。	1/19 岸首相（新安保条約調印全権団）が日米相互協力および安全保障条約、施設・区域・米軍の地位に関する協定等をワシントンで調印。
		10/22	学院全員で天皇皇后両陛下奉迎（国体秋季大会開会式典列席）を味噌天神にて行う。合唱部とブラスバンド部が式典に動員される。	5/3~6 第37回ルーテル教会総会が神水教会で開催され、学院チャプレンに藤井浩を決定。
		11/3	宇土虎雄、県文化功労者として表彰される。	5/20 未明自民党単独で衆議院本会議にて安保改定を採決、可決。以後、国会は空転。
		12/11	宇土虎雄及び上妻博之（文部省文化財保護功労者表彰）祝賀会を同窓会主催で開催。	6/15 全学連デモ隊が国会突入を図り警官隊と衝突。東大生樺美智子死亡。
1961	36	2/6	現職教育「五十周年記念事業を前にして」実施。記念事業準備会を開催。	7/15 岸内閣総辞職。7/19 第1次池田内閣成立。9/10 カラーテレビ本放送開始。
		4/1	創立50周年記念事業募金趣意書が出され、募金が始まる。	9/22 熊本城天守閣が復元完成。10/15 県営藤崎台球場の完工式。
		5/20	創立50周年記念体育祭開催。	9/24 第15回国民体育大会夏季大会、10/23 同秋季大会が熊本で開催。
		5/27	創立50周年記念招待試合開催。	10/12 浅沼社会党委員長、右翼少年に刺殺される。
		6/28~	昭和36年度特別伝道。講師：田坂惇己牧師。	12/17 第2次池田内閣、国民総生産（GNP）・国民所得倍增計画（10年間で）発表。
		10/9	中高全校生徒、遠山先生墓参。	1.県私立校審議会、マリスタ学園（カトリック系）の新設を認可。県教委、県立第二高校の設置を決定（城内二の丸・前熊大医学部校舎を改築）。
		10/27~28	創立50周年記念式典挙げる（於：ブラウン記念礼拝堂）。記念特別講演会開催（於：大洋文化ホール）。講師：立教大学総長・松下正寿、日本ルーテル神学校長・岸千年。記念音楽会・演劇・美術展開催。『九州学院五十年写真集』発行。	4/12 ソ連初の人間衛星ヴォストーク1号打上げ成功。19 ライシャワー駐日大使着任。
				6/12 防衛2法改正公布。農業基本法公布。
				8/13 ベルリンの壁構築。東西交通遮断。
				10/26 中学2・3年生全員対象の〈全国一斉学力テスト〉実施。
				12/12 旧軍人・右翼のクーデター計画発覚（三無事件）。

		10/29	創立 50 周年記念礼拝開催（ブラウン記念礼拝堂）。	12/21 中央公論社『思想の科学』天皇制特集号発売禁止。
1962	37	2/7	初の高校 推挙生入学考査実施 （出願者 30 名、推挙生 6 名、準推挙生 10 名合格）。2/26 中学校推挙生入学考査実施（受験者 8 名、採用 3 名）。	3/1 テレビ受信契約者数 1 千万人突破。義務教育の教科書無償になる。
		4/7	昭和 37 年度入学式。	4/1 県立第二高校開校。高等専門学校設置。
		4/9	始業式。年度努力目標：1.学力の増進、2.宗教教育の徹底、3.生活指導の強化。	5/10 新産業都市建設法公布。
		6/13~15	特別伝道開催。講師：日本ルーテル神学校教授・間垣洋助牧師。	6/2 ばい煙排出規制法公布。
		9/1	始業式を新校舎で迎える。	9/12 国産第 1 号研究用原子炉点火。
		10/20	体育祭実施（例年 5 月実施）。	10/22~28 キューバ危機。
		10/23	生徒対象の新校舎（本館・1 号館）落成式。	
		10/24	新校舎落成式 （於：新校舎屋上）。	11.胎児性水俣病患者を公式確認。
		11/8	文芸講演会開催（於：ブラウン記念礼拝堂）。講師：笹淵友一教授、佐古純一郎。	11/1 防衛施設庁発足。
		12/7	川瀬院長（学制発布九十年記念教育功労者表彰）・宇土虎雄（講道館創設八十周年記念本部功労表彰）の受賞祝賀会開催。	11/9 日中準政府間貿易（LT 貿易）取り決め。 11/14 日英通商航海条約調印。
1963	38	1/30	昭和 38 年度推挙生選考試験を実施。	
		4	福田令寿氏、学校法人九州学院第 2 代理事長就任 （～昭和 40 年 3 月）。	4/7 NHK 大河ドラマ第 1 作「花の生涯」放送開始。
		4/8	昭和 38 年度入学式挙行。	4/8 真和高校開校。
		7/28	野球部、県大会優勝。第 45 回全国高校野球選手権大会に初出場決定。8.甲子園初出場でベスト 16。	6/30 『キリスト教大事典』刊行。 7/12 新産業都市 13 ヶ所、工業整備特別地域 6 ヶ所を決定。
		8/26~29	本館英語教室でテープトレーナーによる英語講習会を開催。	8/5 第 9 回原水禁大会分裂。
		10/4~5	秋季特別伝道開催。講師：北森嘉蔵・東京神学大学教授。	8/14 政府、部分的核実験停止条約に調印。 8/15 政府主催第 1 回戦没者追悼式。
		10/19	学院チャペルで「NHK 高校通信講座」の放送録音が行われた。	10/26 東海村で原子力発電開始。
		10/30	米国留学から帰校した上野輝弥（理科）の歓迎会。11/2 学院文化祭で帰朝講演会開催。	11/9 三池炭鉱の三川鉱でガス爆発。死者 458 人、一酸化炭素中毒後遺症者多数。
		11/23	第 1 回海外伝道記念修養会（主催：敬愛会・白羊会・九州女学院 YWCA、於：阿蘇山荘）。	11.日米宇宙テレビ中継実験成功。 11/22 ケネディ・アメリカ大統領暗殺。
		12 末	学院チャプレン藤井浩牧師退任 。ルーテル教会伝道開始 70 周年記念ブラジル伝道の宣教師として派遣されるため。	この年、NHK 大河テレビドラマが「花の生涯」で開始。坂本九「上を向いて歩こう」がアメリカで大ヒット。
1964	39	1	ホー宣教師、学院チャプレンを代行（～5 月）。	4/1 日本、国際通貨基金（IMF）8 条国に移行。4/28 経済協力開発機構（OECD）に加盟。
		4/10	昭和 39 年度入学式。高校 456 名（志願者 1604 名、8 クラス各組 57 名）、中学 75 名（2 クラス）、転入 9 名が入学。	4.日本ルーテル神学大学（神学部神学科の単科大学）となる。
		5/4~7	ルーテル教会合同後、第 1 回総会を学院チャペルで開催。学院チャプレンに石井昇牧師を任命。5/4 学院は臨時休校。	4/30~5/2 第 40 回総会で日本福音ルーテル教会と東海福音ルーテル教会の合同決議。
		5/19	福田令寿理事長の叙勲祝賀会開催。4.福田理事長、勲四等旭日小綬章を受章。	10/1 新幹線・東京―新大阪間が開通し営業開始。NHK が熊本でもカラーテレビ放送開始。
		6/2	石井昇牧師、学院チャプレン着任 （～昭和 48 年 3 月）。	10/10 第 18 回東京オリンピック開幕。
		10/14~16	学院はオリンピック特別全日休業。10/20~23 同午後休業。運動会取止め。	10/16 中国、初の核実験。
		11/13	学院文化祭開催。招待弁論大会（於：学院チ	11/16 県私立高校協会（理事長・川瀬院長）

		~14	ヤペル)。	は私立校長会 (20 人) を開き、昭和 40 年度入学試験日・受験料統一を申し合わせた。私立高校振興会も結成。
		11/19 ~21	特別伝道開催。講師：三浦義和牧師 (市川教会、元・学院チャプレン)。	
		11/26	中学と高 1 による英語祭 (イングリッシュ・デイ) 開催。	
1965	40	2/23~ 24	高校一般入試を私学協会での協約に従って実施。志願者 1320 名、合格者 900 名。	1/11 中央教育審議会、〈期待される人間像〉中間草案発表。
		3/31	池永春生教頭、副院長に就任 (～翌年 3 月)。教頭に竹熊義孝。	2. 米国、ベトナム北爆開始。沖縄が北爆の基地になる。
		4	内海季秋牧師、学校法人九州学院第 3 代理事長就任 (～昭和 44 年 3 月)。	4/24 ベ平連 (ベトナムに平和を！市民文化団体連合)、初のデモ。
		4/10	昭和 40 年度入学式。中学 54 名 (1 クラス)、高校 445 名 (8 クラス)、転入 7 名が入学。	
		5/25~	池永副院長、欧米教育事情視察に旅立つ (～12 月 27 日)。	6/12 家永三郎、教科書検定訴訟提訴。 6/22 日韓基本条約調印。
		6/12	川瀬院長、藍綬褒章受章祝賀会開催 (於：大洋デパート)。	8/1 昭和 40 年度高校総体熊本大会の開会式挙行 (於：水前寺陸上競技場)。
		10/9	遠山先生召天日、中 1・高 1 が墓参。10/23 稲富先生召天日、朝礼記念説教。	9. 大江教会、宣教師会から会堂敷地譲渡の申し出を受ける。
		11/22	宇土先生受章記念招待試合開催 (於：水前寺体育館)。秋の叙勲で藍綬褒章を受章。	10/21 朝永振一郎、ノーベル物理学賞受賞。
		12/24	学院クリスマス礼拝 (司式：石井チャプレン、説教：久米芳也・神水教会牧師)。	
1966	41	2/8	昭和 41 年度中学入試 (出願：65 名)。2/22~23 高校一般入試。	1/21 日ソ航空協定調印。
		3/31	川瀬清、学院長を退任。4/1 川瀬先生送別会開催 (於：電通会館)。	4/1 川瀬、熊本女子 (現・尚綱) 短期大学教授に就任。
		4/1	池永春生第 4 代院長就任。	4. 戦後初の赤字国債発行。
		4/9	昭和 41 年度入学式。中学 53 名 (1 クラス)、高校 461 名 (8 クラス)、転入 7 名が入学。	5. 中国文化大革命始まる (～76.) 6/25 国民祝日法改正公布。
		4/11	始業式及び池永院長就任式挙行。	6/30 ザ・ビートルズ、日本武道館で公演。
		5/28	体育祭開催。	7/4 政府、新東京国際空港建設地を成田市 (三里塚) に決定。
		6/22~	宗教特別伝道開催。講師：高木幹太牧師。	
		8	全国高校総体で剣道部 (監督：西孝)、男子団体優勝。10/1 剣道部優勝祝賀会 (於：学院図書館)。	9/18 サルトル、ポーヴォアール来日。 9/24 天草五橋開通。
		10/31	中学、貸切バスで天草五橋に出かけ、一日写生大会を行う。	12/8 建国記念日審議会、建国記念の日を 2 月 11 日と答申。9. 日本基督教団反対声明。
		12/25	県下高校駅伝大会で初優勝した陸上部 (監督：兼本哲也) が全国大会 (都大路) に出場。	12/18 大江教会献堂式 (司式：岸千年議長)。
1967	42	1/25	昭和 42 年度推挙生選考試験を実施。	
		2/8	中学一般入試、2/22~23 高校一般入試を実施。	2/11 初の〈建国記念の日〉。 3/16 山陽新幹線起工式。
		4/10	昭和 42 年度入学式。中学 47 名 (1 クラス)、高校 431 名 (8 クラス)、転入 4 名が入学。	
		4/18	体育館建設委員会で設計者をヴォーリズ建築事務所に決定。5/4 ヴォーリズ来校、打合せ。	4/16 東京都知事に革新の美濃部亮吉が当選。
		5/25	石井チャプレン、留学のため離熊。	
		5/27	体育祭開催。5/31 体育祭打上げで 10 数名退学処分。	
		6/11	宇土虎雄先生叙勲 (勲四等瑞宝章) 祝賀会。	6/5~6/10 第 3 次中東戦争。
		8	全国選抜水泳大会で中学水泳部、初優勝。	8/3 公害対策基本法公布。
		11/28	文部省より永年保健体育指導研究に対する表彰状授与。	10/31 吉田茂元首相の国葬が行われる。
12/23	学院クリスマス礼拝と終業式を学院チャペルで行う。	11/15 ワシントンで日米共同声明 (小笠原・沖縄返還に関する声明)。		

1968	43	3 末	総合体育館竣工。	
		4/10	昭和 43 年度入学式（於：学院チャペル）。中学 38 名（1 クラス）、高校 464 名（8 クラス・各組 59 名以上）、転入 12 名が入学。	
		4/19	体育館落成式挙行（於：体育館）。午後、落成記念・OB 対現役選手対抗試合。	4/4 マルチン・ルーサー・キング牧師暗殺。
		5/25	体育祭開催。	5/8 イタイタイ病、公害病と認定。
		6/11~13	宗教特別伝道。主題「生き物から人間へ」、講師：佐藤牧師（鹿児島教会）、谷口牧師（熊本教会）、才木牧師。6/15~16 高 2・3 対象修養会（於：阿蘇山荘）。	6/15 学生らが東大安田講堂を占拠。7. 東大紛争激化。 6/26 小笠原諸島返還式。
		6/17~21	高 1 の 4 クラスが各組 1 泊 2 日で修養会を実施（於：阿蘇山荘）。	8/20 ソ連東欧 5 カ国軍、チェコ侵入。 8/8 日本初の心臓移植術成功。
		9/2	2 学期中高始業式（於：新体育館）。	9/24 スタイワルト氏、ノースカロライナ州グリーンズボロで召天。
		9/11~18	残りの高 1・4 クラスが各組 1 泊 2 日で修養会を実施（於：阿蘇山荘）。	9/26 厚生省、水俣病は新日本窒素肥料水俣工場の排水、阿賀野川有機水銀中毒は昭和電工の排水が原因と発表。
		9/29	関東学院修学旅行団、ブラウン記念礼拝堂で聖日礼拝を守る。司式：石井チャプレン、説教：池永院長。	10/17 川端康成、ノーベル文学賞受賞。
		10/23	明治百年記念日のため午後休講となる。	10/23 明治百年記念式典開催（於：日本武道館）。
		11/16~17	従来文化祭を学院祭に替え、体育館ステージで公演を行う。	10/31 米軍の北ベトナム爆撃全面停止。
		1969	44	1/27
2/6	中学入試を実施。43 名受験 43 名全員合格。			2/1 熊本大学でも教養部ストライキ突入。
2/10	従来の推挙生入試を改め、給費生・推薦生入試を実施。給費生に 9 名、推薦生に 107 名合格。2/21 高校一般入試。合格 1051 名。			4/1 日本ルーテル神学大学、三鷹に移転。 4/22 熊本大学全学共闘、大学本部事務局を占拠。5/10 機動隊導入。
2/20	『九州学院論叢』（創刊号）刊行。			6/21 九州女学院講堂で「初代院長故マーサ・ビ・エカード先生追悼記念式」挙行。
4	柏木信隆牧師、学校法人九州学院第 4 代理事長就任（～平成 1 年 3 月）。			7. 宇宙船アポロ 11 号航空士、初月面着陸。
4/10	昭和 44 年度入学式挙行（於：体育館、午後 1 時）。中学 43 名、高校 475 名、転入 11 名入学。			8/7 「大学の運営に関する臨時措置法」が公布される。
10/13~15	秋季特別伝道講演会開催。講師：佐古純一郎（二松学舎大教授・中渋谷教会牧師）。			11/21 佐藤・ニクソン会談（安保条約堅持、沖縄施政権の 72 年返還）、共同声明発表。
1970	45	1/26	敬愛寮（東棟）建築起工式。	2/11 初の国産人工衛星打上げ成功。
		3/2	昭和 44 年度第 22 回高校卒業式を厳重な警戒の中、挙行。420 名が卒業。3/20 中学第 23 回卒業式挙行。40 名が卒業。	3/14~日本万国博覧会、吹田市で開催。 3/31 日本赤軍派による日航機「よど号」ハイジャック事件が起きる。
		4/10	昭和 45 年度入学式。中学 38 名、高校 442 名が入学。	6/22 日米新安保条約、自動延長入り。
		8	敬愛寮竣工。8/31 敬愛寮入寮式。初代寮監長に岩崎国春が就任（～昭和 48 年 3 月）。	7/18 東京杉並で全国初の光化学スモッグ発生。
		9/10	敬愛寮落成式。	10/20 初の『防衛白書』発表。
		9/30~10/2	特別伝道講演開催。講師：徳善義和（日本ルーテル神学大学助教授）。	11/25 三島由紀夫、割腹自殺事件。
		11/16	職員会議で英語コース設置決定。	12/2 総理府、国勢調査結果発表。総人口 1 億人突破。
		1971	46	2/3
3/23	新入生登校日に選考し、英語コース 1 クラスを編成。			
4/10	昭和 46 年度入学式。中学 61 名（2 クラス）、高校 440 名（8 クラス）が入学。	6/17 ワシントンで沖縄返還協定調印。 7/1 環境庁設置。		
5/22	創立 60 周年記念体育祭。同窓会総会開催（午後 6 時より、於：大洋ホール）。	8/16 東京証券取引所、ダウ平均株価史上最大の暴落（ドル＝ショック）。		

		6/18~19	宗教特伝。講師：西恵三（東京大学助教授）。 主題：「宇宙を眺めて」。	8/27 政府、変動為替相場制に移行を決定。 9/28 日本初科学衛星打ち上げ成功。
		10/30	創立 60 周年記念式典・講演会開催（於：新体育館）。	10/10 NHK テレビの全放送カラー化。
		10/31	創立 60 周年記念礼拝（於：学院チャペル）。 同窓生大会（於：大洋デパート特別室）	10/25 中華人民共和国、20 年ぶりに国連復帰決定。
		11/6~	記念文化祭開催（於：校内）。	12/19 10 カ国蔵相会議で円を切り上げ 1 ドル=308 円となる。
		11/9	県統計大会で学校調査優良校として文部大臣表彰を受ける。	
1972	47	4/10	昭和 47 年度入学式。中学 46 名（1 クラス）、 高校 490 名（9 クラス）が入学。	2/3~第 11 回冬季オリンピック札幌大会開催。 2/19 連合赤軍浅間山荘事件。
		5/15	沖縄復帰記念日により、午前中授業となる。	5/15 日米沖縄返還協定発動。27 年振りに 日本に復帰、沖縄県発足。 6/11 田中角栄『日本列島改造論』刊行。
		10/27	60 周年記念事業募金委員会開催。池永院長、 特別教室等の記念事業完遂に尽力。	8/5 新制高校部会が同窓会の一部として 発足し、熊本で開催（於：交通センターホテル）。
		12/9	特別教室棟建築起工式。	9/29 日中共同声明発表（日中国交回復）。 11/5 中国からのパンダ、上野動物園初公開。
1973	48	2/5	従来の高校推薦生を取り止め、以前の 推挙生 を復活 し、高校推挙生入試を実施。出願 179 名、推挙生 5 名、準推挙生 110 名合格。	2/14 変動為替相場制に再移行。（1 ドル 277 円 22 銭）
		2/6	中学入試実施。推挙生 2 名、一般生 43 名合格。	3/20 熊本地裁、水俣病訴訟で患者側全面 勝訴の判決。
		2/22	高校一般入試実施。1143 名が受験。	6/8 第 1 回熊本県高校総合体育大会開幕。
		2/28	恒例の校内駅伝大会実施。	8/7 福田令寿（元・学院理事長、満 100 歳）が召天。
		4	吉谷正典 牧師、 学院チャプレンに就任 。敬愛 寮第 2 代寮監長を田中善一（事務長）が兼任 （～昭和 50 年 3 月）。	8/8 金大中事件起こる。 10.第 1 次石油危機。
		4/11	昭和 48 年度入学式。中学 43 名、高校 446 名 が入学。	10/23 江崎玲於奈ノーベル物理学賞発表。 11/29 大洋デパート大火災。死者 103 名。
		11/10	創立 60 周年記念事業特別教室校舎が竣工し、 落成式を開催 （於：総合体育館）。	11/12 衆議院法務委員会、田中首相の金脈 問題追求。高度経済成長時代終わる。
1974	49	4/11	昭和 49 年度入学式。中学 44 名、高校 416 名 （8 クラス）が入学。	3/10 山陽新幹線全線開通。 4/1 九州女学院、「九州女学院短期大学」 を設立。
1975	50	4	安富信博、敬愛寮第 3 代寮監長に就任（～平成 6 年 3 月）。	4/30 ベトナム解放軍、サイゴン入城（ベ トナム戦争終結）。
		4/11	昭和 50 年度入学式。中学 43 名、高校 511 名 （9 クラス）が入学。	7/19 沖縄国際海洋博覧会開幕 （～76.1/18）。
		7	高校野球中九州大会で優勝し、2 度目の甲子園 出場を果たす。	11/15~17 第 1 回先進国首脳会議（サミッ ト）、仏で開催。
		8	全国高校総体でボクシング部（部長：田中信 生）が初の全国優勝。	
1976	51	4/10	昭和 51 年度入学式。中学 48 名、高校 444 名 （8 クラス）が入学。	1/25 郵便料金値上げ実施（はがき 20 円、 封書 50 円）。
		12/8	東京九学会会長・緒方信一氏（勲二等旭日重 光章）と池永春生院長（公私立学校教育功労 者文部大臣表彰）の受章祝賀会開催。	7/27 東京地検、田中前首相をロッキード 事件で逮捕。 11/10 天皇在位 50 周年式典。
1977	52	3/31	池永春生院長、定年にて退任。退任後、みど り幼稚園長に就任。	1/27 ロッキード事件丸紅ルート初公判。 2/23 日本初の静止衛星打ち上げ。
		4/1	齋藤堅固 第 5 代院長就任。	5/2 領海法公布。漁業水域暫定措置法公 布。5/7~8 ロンドンサミット開催。
		4/8	齋藤院長就任式及び始業式挙行。	
		4/9	昭和 52 年度入学式。中学 45 名、高校 463 名 （9 クラス）が入学。	7/23 文部省、小中学校の新学習指導要領 で「君が代」を国家と規定。
		5/6	全国園長会議出張中の池永春生園長、召天	8/3 原水禁世界大会、14 年ぶりに統一し

			(於：ルーテル市谷センター)。みどり幼稚園長を田中善一(事務長)が兼任。	て開催。
		5/12	池永春生前院長の学院葬挙(於：学院体育館)。	8/30 ミラー氏召天。9/21 ミラー先生追悼礼拝(於：大江教会)。
		8	中学柔道部(部長：平井英雄)3年連続4回目の全国優勝。	11/12~13 第1回日本YMCA大会。
1978	53	2末	学院講堂(ブラウン記念礼拝堂)の修復工事が完了。	3/26 成田空港で反対派と機動隊が大規模な激突。
		3	新装なった学院講堂で、高校第31回、中学第32回卒業式を挙(於：学院体育館)。	4/12 尖閣諸島の日本領海に中国船が侵入。退去要求無視。
		4/10	昭和53年度入学式。中学46名、高校394名(8クラス)が入学。	5/20 新東京国際空港(成田空港)開港式。 8/12 北京で日中平和友好条約調印。
		8	全国高校総体でバドミントン部(部長：西田淳二郎)が団体・3種目制覇し完全優勝。	9/15 プロテスタント・カトリック『共同訳 新約聖書』完成。
		10/7	体育祭開催。10/9 遠山先生墓参(於：万日山)。	10.円高で1ドル=175円。11.イラン革命。
1979	54	3/20~4/9	海外研修旅行開始。第1回訪米研修旅行実施(~1997年3月、18回実施)。	1/13~14 第1回国公立大学共通1次試験実施。
		8	中学柔道部、通算5度目の全国優勝。バドミントン部、2年連続個人全国優勝。	6/12 元号法公布施行。カーター米大統領来日。東京サミット。 12/27 ソ連、アフガニスタン侵攻。
1980	55	2/1	高校特待生(現・奨学生)・推薦生(現・専願生)入試実施。特待生A15名、B26名、推薦生150名(含・スポーツ推薦)合格。	1/12~13 第2回共通1次試験実施。
		2/20	高校一般入試実施。950名が合格。入学決定後、英語コースと数学コース各1クラスを編成。	4.国会法改正公布。 5/17 民放改正公布。
		3~4	第52回選抜高校野球大会に野球部(監督：緒方徹)が出場。創部69年で春夏通算3度目の甲子園出場。	5/24 日本オリンピック委員会(JOC)、モスクワ・オリンピック不参加決定。
		4	昭和55年度入学式挙(於：学院体育館)。中学40名、高校394名が入学。	6/29 アウグスブルクで「アウグスブルク信仰告白450周年記念集会」開催。
		6	創立20周年記念図書館、解体。	9/22 イラン・イラク戦争(~88.8/20)。
1981	56	2	昭和56年度入試で、高校一般志願者が1714名で過去最高を記録。体育館も入試会場として使用。入学手続き総計が1,100名を超過。	1/6 閣議、2月7日を北方領土の日と決定。 1/20 郵便料金値上げ(はがき30円、封書60円)。米大統領にレーガン就任。
		4/11	昭和56年度入学式。中学40名、高校434名(9クラス)が入学。	2/23 教皇ヨハネ・パウルス2世、日本公式訪問。24.教皇、天皇と会見。25.広島で平和アピール。26.殉教の地長崎を巡礼。
		10/29	創立70周年記念礼拝(学院チャペル)。	3/2 中国残留日本人孤児47名、初来日。
		10/30	創立70周年記念式典挙(於：熊本市市民会館)。講演会：松山義則・同志社大学長、映画会：「典子は、今」、プラスバンド定期演奏会。『九州学院七十年史』発行(編集執筆者：中田幸作)。	4/22 マザー・テレサ来日。24~25.マザー・テレサを迎え、「生命の尊厳を考える国際会議」開催。
		10/31	記念招待試合(於：熊本市体育館)。同窓会主催音楽会(於：市民会館)。記念書画写真展。	10/19 福井謙一、ノーベル化学賞受賞。
1982	57	2/2	昭和57年度奨学生・推薦生・中学入試を実施。中学46名、高校188名を合格発表。2/16 高校一般入試。1051名を合格発表。	3.卒業式の校内暴力に備え、637の中学高校が警察に警戒出動を要請。 4/2~6/14 フォークランド紛争。
		3	70周年記念事業みどり幼稚園新園舎竣工。	4/21 マザー・テレサ再来日。
		4	みどり幼稚園、新屋敷から移転し保育開始(主任：田代恵美子)。田中園長兼務を辞し、齊藤院長が園長兼務。	6/8 生物兵器・特定通常兵器・環境変更技術禁止条約公布。
		4/10	昭和57年度入学式。中学38名、高校288名(7クラス)が入学。新入生が丙午生れのため、高校は前年比150名減少。2年次には6クラス編成となる。	6/23 東北新幹線(大宮一盛岡間)開業。
		5/26	みどり幼稚園舎新築落成式。	
		6/14~16	宗教特別伝道開催。講師：福井達雨(止揚学園園長)。主題：「心のひびきのつたわりを」。	7/26 中国政府、歴史教科書の記述内容が日中共同声明の精神に違反と抗議。歴史

		7/24	豪雨のため造成中の徳王グラウンドが一部決壊。修復造成工事に着手。	教科書検定、国際問題化。 8/24 公職選挙法改正公布。
		10/9	遠山先生没後 50 周年記念墓前礼拝。	11/27 第 1 次中曽根内閣発足。
1983	58	2	昭和 58 年度入試実施。合格者：中学 51 名、高校奨学・推薦 203 名、高校一般 1144 名。	1/27 青函トンネル貫通。
		3	徳王グラウンド（野球場、球技場）ほぼ完成。	2/1 老人保健法施行。
		4/11	昭和 58 年度入学式。中学 48 名、高校 315 名（7 クラス）が入学。中学制服を詰襟学生服からブレザーに変更。	4/15 東京ディズニーランド開園。
		4/21~25	中学 3 年生、山陰・広島地方に修学旅行実施（4 泊 5 日）。	
		4/22	第 1 回同窓会育英奨学資金授与式。中学 1 年 2 名、高校 1 年 1 名。	
		4/24	第 1 回鎮西学院・九州学院親善試合実施 （於：九州学院）。	6/26 第 13 回参院選挙（比例代表区、初の政党名記入投票）。
		5/21	マッカートニ先生、30 年ぶりに来熊。5/25 マッカートニ先生、学院朝礼で挨拶。昼食会、同窓生有志による歓迎会開催。	7/15 家庭用ゲーム機ファミリーコンピュータ任天堂より発売。
		6/29~	宗教特別伝道開催。講師：保田井進・西南女学院短大教授（J3 卒）。バウムガートナー教授夫妻ピアノ連弾コンサート。	9/1 大韓航空機墜落事件。 10/12 ロッキード事件判決公判で東京地裁、田中元首相に懲役 4 年実刑判決。
		7/6	関西学院聖歌隊、来校演奏。田添禧雄・神学部教授（J1 卒）引率。	11/10 ルター生誕 500 年記念日。
1984	59	4/10	昭和 59 年度入学式。中学 45 名、高校 489 名（10 クラス）が入学。高校前年比 174 名増。	1/24 米アップル社、マッキントッシュを発表。
		4/15	第 2 回鎮西学院とのスポーツ交歓試合（於：九州学院）。	4/7 日米農産物交渉決着。
		6/10	徳王グラウンド竣工式・グラウンド開き式典 挙行。招待試合実施。	6/7~9 第 10 回サミット、ロンドンで開催。
		6/25~27	宗教特別伝道開催。講師：重野信之牧師（室園教会）。主題：「共に在ること」。	7/1 総務庁設置。 8/11 山下泰裕、ロス五輪柔道無差別級で金メダル。9/28 国民栄誉賞を贈与。
		9/5	創立 70 周年記念九学会館建設工事開始。	10/1 関西国際空港（株）設立。 11/1 日銀、新札発行。
		10/11	第 1 回九州学院・九州女学院中学校合同英語暗唱大会開催（於：九州学院チャペル）。	12/19 1997 年香港返還の合意文書調印。
		11/20	院長後任とチャプレン人事に関する理事会開催。	
1985	60	3/1	昭和 59 年度高校第 37 回卒業式。277 名（丙午生れ、6 クラス）が卒業。3/18 中学第 38 回卒業式。40 名が卒業。	3/11 ソ連共産党書記長にゴルバチョフ就任。ペレストロイカ開始。
		3/16	みどり幼稚園卒園式。 九学会館献堂式 挙行。九学会館、開館。	3/17 科学万国博覧会、筑波で開幕。（～9/16）
		3/20	終業式および齊藤院長退任式。	
		4/1	西一郎第 6 代院長就任。内海革牧師、学院チャプレン就任。	4/1 日本電信電話（株）NTT、日本たばこ産業（株）JT 発足。
		4/9	西院長・内海チャプレン就任式挙行。司式：柏木理事長。	4/4 政府、国際捕鯨委員会の商業捕鯨禁止決定に同意（88 年 3 月までに撤退）。
		4/10	昭和 60 年度入学式。中学 42 名、高校 426 名（9 クラス）が入学。	6.男女雇用機会均等法公布。 8/12 日航ジャンボ機が御巣鷹山に墜落、520 人死亡。
		7 末	敬愛寮分寮建設委員会立ち上げ。	9/22 日米英仏独 5 カ国蔵相会議。プラザ合意。
		8	全国高校総体（石川県）でサッカー部（部長：菊池隆昭）が全国初優勝。	
		9/28	新寮設計図についての検討会。	
1986	61	5	敬愛寮新寮（西棟、4 階建 64 名収容）竣工。	4/26 ソ連チェルノブイリ原子力発電所大事故。
		10/6~7	キリスト教特別伝道週間。講師：佐藤邦宏牧師（日本福音ルーテル教会議長）。演題：「生命・このすばらしいもの」。	5/4~6 第 12 回サミット、東京で開催。 9.郵政省、郵便の鉄道輸送を全廃。

		10/8	「遠山参良先生講演」講師：松岡幹三牧師（第8回卒）。10/9 遠山先生墓参（万日山）。	9/6 土井たか子、社会党委員長に就任（初の女性党首）。
		11/1~2	学院祭開催。メイン・テーマ：“Revolution” —革命—。	11/21 伊豆大島の三原山大噴火、一時全島民が島外に避難。
1987	62	3	内海革牧師、学院チャプレンを退任。	1/24 防衛費のGNP1%枠に代わる総額明示の新基準決定。
		4/1	逸見義典牧師、学院チャプレンに就任 （～平成4年3月）。	4/1 国鉄が分割・民営化、JR7社開業。
		4/9	昭和62年度入学式。中学57名（2クラス）、高校397名（9クラス）が入学。	5/15 税制改革協議会発足。
		4	新入生歓迎遠足で釈迦院石段三千段に全校生徒出かける。	10/12 利根川進、日本人初のノーベル生理学・医学賞受賞発表。
		8	第69回全国高校野球大会に野球部（監督：緒方徹）、12年ぶり3回目の出場。	11/20 全日本民間労働組合連合会（民間連合）発足。
		10	谷口恭教（英語）、中学校教育功労者として文部大臣表彰。	12/14,15 竹下首相、ASEAN6カ国首脳会議に出席（マニラ）。 バブル経済 に沸く。
1988	63	3	敬愛寮西棟を使った春期合宿課外実施。西院長自ら英語を担当。	3/13 青函トンネル開業。 3/18 東京ドーム落成。
		3	全国中学校選抜柔道大会（山形県）で9年ぶり6度目の優勝。	4/10 瀬戸大橋開通。
		4/9	昭和63年度入学式。中学37名（1クラス）、高校442名（9クラス）が入学。PTAが育友会に名称変更。全教室に冷暖房設備を設置。	6/18 リクルート事件発生。 6/20 牛肉・オレンジ輸入自由化の日米交渉妥結。
		10/5	「遠山先生を偲ぶ会」（現・創立者の精神を覚える会）開催。講師：潮谷総一郎（第16回卒）・前慈愛園長。10/8 中高1年、遠山先生墓参。	9/19 昭和天皇重体。 9/22 国事行為、皇太子に委任。
		11/2	学院祭・講演会と映画会（於：県立劇場）。講師：塘添巨男（第4回卒）・熊本市立博物館長。映画：「マザー・テレサ」鑑賞。	12/24 消費税導入を柱とする税制改革関連6法公布。
1989	昭和64			1/7 昭和天皇崩御 （於：皇居・吹上御所）。明仁親王即位。「 平成 」と改元。
		平成1	4/1 久米芳也牧師、学校法人九州学院第5代理事長に就任 （～平成10年3月）。	1/17 松村敏人（S6回）、熊本県教育長就任。
	平成1	4	2年次より普通・英語・国公立（前・数学）コースを設置。小副川幸孝牧師、チャプレン補佐として着任。	2/24 昭和天皇の大喪の礼。 4/1 消費税実施（3%）。
		4/10	平成元年度入学式。中学37名、高校376名（8クラス）が入学。	6/4 中国、天安門事件発生。 10/1 熊本市制100周年記念式典開催。
		8	第1回訪豪研修団20名、31日間の研修旅行。	11/9 「ベルリンの壁」崩壊。
		9/1	2学期始業式。九州大学コール・アカデミー来校、合唱披露。	11/21 日本労働組合総連合会（「連合」）発足。
		10	キリスト教特別伝道開催。講師：森優牧師（田園調布教会、聖文舎社長）。テーマ：聖書に親しむ（クロスウェイ聖書研究法を使用）。	12/3 米ソ首脳、冷戦終結宣言（マルタ会談）。
1990	平成2	1/9	創立記念日講演会（於：県立劇場）。講師：柏尾誠之・熊本市助役（S4回）。	1/13 大学入試センター試験始まる。 3/15 ゴルバチョフ ソ連初代大統領就任。
		1/27	中学校でSSH研究会が開始される。	3/27 北海道の夕張炭鉱閉山。
		3/5	「長期計画検討委員会」に「共学特別委員会」から「男女共学の理念」の文書提出。	4/1 国際花と緑の博覧会、大阪で開幕（花の万博）。
		4/10	平成2年度入学式。中学38名、高校350名（8クラス）が入学。	5.オウム真理教、熊本県波野村（現・阿蘇市）に15万平方メートルの土地取得。 6/29 秋篠宮家創設。
		6/13	オーストラリアのインマヌエル・カレッジと姉妹校締結。協定書調印式（於：熊本厚生年金会館）。	
		8	第59回全国高校総体（仙台）で自転車部（部長監督：木下敬史）が全国総合優勝。	
		8/30	『九学通信』〔共学特集〕に久米理事長、「共	9.日朝3党（自民・社会、朝鮮労働党）

			学を機に「新時代を拓く人材を」等を発表。	の共同声明。
		9/5	多目的教室棟の起工式挙行。	10/3 東西ドイツ統一。
		11/18	第70回全国高校ラグビー選手権県予選でラグビー部（部長監督：野口光太郎）が優勝し、念願の花園出場を果たす。	11/12 新憲法下初の即位の礼、大嘗祭。 11/29 議会開設100周年記念式典。
1991	3	3/24	多目的教室棟（3号館）竣工。	1/17~4/6 湾岸戦争。
		4/9	平成3年度入学式。男女共学に移行。中学80名（内女子12名）、高校369名（8クラス、内女子32名）が入学。英語コース（2クラス、女子各13名）、数学コース（1クラス、女子6名）に限定女子募集。	3/6 湾岸戦争支援90億ドルを含む補正予算成立。 4/1 牛肉・オレンジ輸入自由化。
		5/11	3号館の聖別式・落成式 （於：3号館ホール）。	4/26 海上自衛隊掃海艇、ペルシャ湾へ出発（～10月）。
		5/15~	中学校が毎週3号館ホールで朝礼を実施。	
		6/17~	キリスト教特伝開催。講師：徳善義和牧師（日本福音ルーテル神学大学教授）。主題：「わが青春とキリスト教」。	
		8	中学剣道部が全国初制覇を遂げる。	
		9/21	創立80周年記念体育祭を開催。	9.58カ月の好景気で「いざなぎ景気」を 超す。その後、平成不況開始。
		10/31	創立80周年記念礼拝 （於：ブラウン記念礼拝堂）。説教：藤井浩牧師（元・学院チャプレン）。	
		11/1	記念映画鑑賞会（「戦争と青春」、学院プラスバンド記念演奏会（於：市民会館大ホール））。	11/5 宮沢喜一内閣成立。社会党が「日の丸」容認。
		11/2	創立80周年記念式典挙行 （於：市民会館）。記念講演会「伝統と継承」（講師：西恵三・東大名誉教授）。	12/25 ソ連邦解体、ゴルバチョフ大統領辞任。
1992	4	3	平成4年度奨学・推薦・一般入試に計2476名が受験し、1298名が合格（内女子135名）。	5/22 細川護熙・前熊本県知事、日本新党結成。
		3	西院長と土山高校主事が韓国・文泰高校を訪問。以後、友好関係を保ち交流を深めることになる。	6/15 P K O協力法（国際平和協力法）成立。
		4/1	平井栄牧師、学院チャプレンに就任 （～平成7年3月）。	7/1 山形新幹線（初のミニ新幹線）開業。
		4/9	平成4年度入学式。中学80名（2クラス）、高校370名（8クラス）が入学。中学校と高校の英語・数学コースが共学。	9/12 公立学校で第二土曜日「学校週5日制」開始。 9/17 自衛隊をカンボジアP K Oに派遣。
		7	文泰高校から理事長、校長を始め5名が来校。	10/23~28 天皇・皇后両陛下、訪中。
		8	学院サッカー部、親善試合のためソウル訪問。	
		10	西院長、文部大臣より教育功労表彰を受賞。ティール大学から社会功労賞を受賞。	10/31 ローマ教皇、ガリレオの破門を解く。
		11/2	上野輝弥・国立博物館古代生物第三研究室長（S24回卒）学術講演「シーラカンスと恐竜」開催。	この年から、地価が下落。
1993	5	3	第1回訪英研修旅行実施。第2回全国高校剣道選抜大会で学院剣道部、初優勝。	1/20 米大統領にクリントン就任。 8/7~9 日本福音ルーテル教会「宣教百年記念大会」を熊本市で開催。テーマ：「宣教第二世紀へ『さあ出て行こう』」。
		4	平成5年度入学式。中学77名、高校369名が入学。	
		10/6	平井正徳博士（S14、元・日本英文学会会長、日本学士院会員）、九州学院で講演。	8/9 細川護熙非自民連立内閣成立。 55年体制崩壊 。 10/30「レーナ・マリア・コンサート」（実行委員会事務局・九州学院）開催。
		11	第45回高松宮杯全日本中学弁論大会で石川幹裕（中3）が優勝。学院は過去20年間に優勝8回、準優勝2回、入賞5回の成果をあげた。	11/1 欧州連合（E U）発足。 12/9 法隆寺と姫路城が世界文化遺産に、屋久島と白神山地が自然遺産に登録。
1994	6	1/18	新西門竣工式（聖別式）挙行 。	1/29 小選挙区比例代表並立制導入の政治改革関連4法成立。
		1/19	創立記念講演会開催（於：県立劇場）。講師：	

			福田稠・学院理事（S18 回卒、福田病院理事長）。	4/1 熊本女子大が県立大に、熊本商大・短大が熊本学園大に衣替え。
		3/31	西院長、勇退。安富信博寮監長、退任（学院英語科教師に就任）。	4/28 羽田孜内閣成立。
		4/1	土山研三第 7 代院長就任 。福島祐一、敬愛寮第 4 代寮監長就任。	6/30 羽田内閣総辞職。村山富市連立内閣成立（社会党の内閣は片山哲内閣以来 47 年ぶり）。
		4/9	土山院長就任式挙行。平成 6 年度始業式。	
		6/20~25	平成 6 年度キリスト教特別伝道週間。講師：立野泰博牧師（S31、徳山教会）、松本教宣牧師（S32、清水教会）、市内ルーテル教会牧師。	7/8 金日成北朝鮮主席死亡。 9/4 関西国際空港開港。
		6/27	種子島経（S6、BMW 東京社長）講演会「ぼくの前には道がない」開催。	10/13 大江健三郎、ノーベル文学賞受賞発表。
		11/2~3	学院祭開催。特別講演会・谷口恭教教諭「日本一になる秘訣…高松宮杯中学英語弁論大会を指導して」。	11/9 税制関連法成立（消費税率 97 年 4 月より 5%）。
1995	7	1/19	創立 84 周年記念講演会（於：市民会館）開催。中原康麻呂（旧職員）「九州学院創立の精神」。	1/17 阪神・淡路大震災（兵庫県南部、阪神・淡路島）発生。
		4	金海秀夫牧師、学院チャプレンに就任 （～平成 15 年 3 月）。	3/20 地下鉄サリン事件。13 人死亡、5,510 人が重軽傷。
		4/6	全天候型グラウンド（第 5 種公認競技場）竣工式。	4/19 東京外国為替市場、円高により 1 ドル=79 円 75 銭。
		4/11	戦後 50 周年（卒業 50 周年）を迎え、旧制 31 回の卒業 50 周年同窓会を学院 3 号館ホールで開催。	4. 東京都知事に青山幸男、大阪府知事に横山ノックのタレント出身者が当選。 7/27 九州自動車道全線開通。
		4/19	同じく旧制 30 回の同窓会（卒業証書授与式）をブラウン記念礼拝堂で開催。	12/8 敦賀市の高速増殖炉「もんじゅ」ナトリウム漏れ事故。
		4/21	川瀬清同窓会会長が勇退し、新会長に松村敏人（S6）が就任。	12/20 水俣病未認定患者救済問題、公式発見以来 40 年目で解決。
		9	全天候型グラウンドで最初の体育祭を開催。	
1996	8	1/19	創立 85 周年記念講演会（於：市民会館大ホール）開催。講師：清重尚弘日本ルーテル神学大学学長。演題：「紀元 2000 年・世界の私」。	1/11 橋本龍太郎内閣成立。 4/1 らい予防法（新法）（1953 制定）を廃止。
		3/13~4/5	第 17 回訪米研修旅行（生徒 12 名、引率 2 名）実施。	4/12 普天間飛行場を返還することで日米合意。
		3/18~4/2	第 1 回英語コース訪英研修旅行（生徒 45 名、引率 3 名）実施。	4. ルーテル神大、「ルーテル学院大学」へ名称変更。
		7/29~8/17	第 3 回オーストラリア研修旅行（九州女学院との合同）実施。	9/29 民主党結成。 9/30 阪神高速道路神戸線が全線開通。
		8	松崎みずほ（高 3）ドイツジュニア国際柔道大会（72kg 以下級）で優勝。	12/7 原爆ドームと巖島神社が世界文化遺産に登録。
		10/1~5	中学校（中 2）韓国修学旅行（4 泊 5 日）を実施。	12/17 ペルー日本大使公邸人質事件（~97.4.）。
		10	ブラウン記念礼拝堂、文化庁登録有形文化財に指定。学院西門からのプロムナード竣工。	12/25 川崎公害訴訟、14 年ぶりに企業と和解。
1997	9	1/17	創立記念講演会開催（於：県立劇場）。講師：宮川大平・前熊本大学医学部長（S5）。	1/31 公安審査委員会、オウム真理教に破壊活動防止法の適用棄却。
		2/23~27	高校 1 年（英語コース以外）第 1 回中国研修旅行（蘇州・南京・上海、生徒 330 名、引率 13 名）実施。	4/1 九州女学院短大、4 年制に移行し「九州ルーテル学院大学」となる。 4/1 消費税 5%スタート。
		3/18~	第 2 回英語コース訪英研修旅行実施。	5/8 アイヌ文化振興法成立（1899 年の北海道旧土人保護法廃止）。
		4.	内村公春（第 8 代院長）教頭に就任。池永清（S20）事務長に就任。	6/17 臓器移植法成立。
		5/19~21	中学全校教育キャンプ（於：大分県久住町泉水キャンプ場）実施。	6/18 改正男女雇用機会均等法成立。
		夏	学院プール（創立 20 周年記念建設）解体。遺跡発掘調査が行われる。	6/20~22 デンバーサミット（ロシアの参加で主要国首脳会談に）。 7/1 香港、中国に返還。

		10/6~7	宗教特別伝道開催。講師：角本浩牧師（S35、二日市教会）。主題：「若き日に主を覚えよ」。	7/2 アジア通貨危機始まる。 7/29 熊本県、水俣湾の安全宣言。
		10/9	遠山先生召天日墓前礼拝（中1・高1参加）万日山で実施。	12/5 財政構造改革法成立。経済危機が深まる。12/9 介護保険法成立。
1998	10	1/20	創立 87 周年記念講演会開催。講師：元松至人・アムスコジャパン代表取締役（S9）。	2/7~22 長野冬季オリンピック開催。
		2/22~26	第 2 回中国海外研修旅行（高 1 生徒 277 名、引率 13 名）実施。	3/31 山一証券、101 年の歴史に幕。
		7	屋内プール新築工事着工。	5.改正財政構造改革法成立。
		夏～秋	剣道部（監督：米田敏郎）、魁星旗全国高校剣道大会、玉竜旗高校剣道大会、全国高校総体で優勝。総体個人でも内村良一（高 3）が優勝。	5/11 インド、5/28 パキスタン核実験。 6/1 自社さ 3 党体制 4 年で解消。 6/5 学校教育法改正成立。公立中高一貫可
		8	野球部（監督：坂井宏安）、第 80 回全国高校野球大会（甲子園）出場。	6/5 金融システム改革法成立。金融監督庁発足。
		秋	末續慎吾（高 3）、「かながわ・ゆめ国体」陸上少年 A100m で優勝。	10/7~10 金大中韓国大統領来日。
		9/9	川瀬清第 3 代院長召天。	10/23 日本長期信用銀行破綻。
		11	理事会で久米芳也理事長の辞任が承認され、新理事長に長岡立一郎牧師（S17、日本福音ルーテル本郷教会）を選任。	12/5 金融再生委員会発足。
1999	11	3/16	理事会・評議員会で「九学 21 世紀委員会」設置を承認。	4/1 改正男女雇用機会均等法施行。 5/24 日米防衛協力の指針（ガイドライン）関連法（周辺事態法など）成立。 6/23 男女共同参画社会基本法公布。 7/8 中央省庁改革関連法・国会活性化法（政府委員制度廃止・副大臣制度導入など）成立。7/16 地方自治法改正公布。 8/9 国旗・国家法成立。 12/20 ポルトガル領マカオ、中国に返還。 12/31 米、パナマ運河返還。
		春	屋内プール、徳王屋内野球場、ハンドボールコート竣工。	
		4/1	長岡立一郎牧師、学校法人九州学院第 6 代理 事長就任。	
		4/15	屋内プール竣工・落成式。	
		8	第 81 回全国高校野球大会に 2 年連続出場。	
2000	12	2/22~	第 4 回中国研修旅行（北京）実施。	2.大阪府知事に太田房江が当選（全国初の女性知事誕生）。
		2/29	「九学 21 世紀委員会答申書～21 世紀の魅力ある学校づくりを目指して～」が出る。	
		3	第 72 回選抜高校野球大会（春の甲子園選抜大会）に 20 年ぶり出場。	3.年金改革関連 7 法成立。 5.ロシア大統領にプーチン就任。 6.南北朝鮮首脳会談。 7.金融庁発足。三宅島噴火。2000 円札発行。九州・沖縄サミットが名護市万国津梁館で開幕。 9.プーチン・ロシア大統領来日。共同声明を発表。 10.千代田生命・協栄生命保険会社破綻。 10.白川英樹、ノーベル化学賞受賞。 10.参院選非拘束名簿式導入の改正公職選挙法成立。
		8	全国高校総体（岐阜県大会）ボクシング部（監督：木庭浩一、部長：米田嬉男）25 年ぶり 2 度目の全国優勝を果たす。本田裕人（高 3）は 4 冠達成。	
		8	同上総体で水泳部（監督：田代稔）の烏川昌大（高 3）が 100m バタフライで、森康聡（高 2）が 400m 個人メドレーで優勝。	
		秋	キリスト教特別伝道週間開催。講師：東後勝明・早稲田大学教授（元 NHK ラジオ英会話講師）。	
		10/9	「遠山先生を偲ぶ会」開催。講師：三原悟・市教育委員会学校教育部指導主事（S22）。	
		11	学院祭・開会式講演「シドニーオリンピックに参加して」開催。講師：末續慎吾（S51）。	
		11	1 号館改修工事開始。	
2001	13	1/18	創立 90 周年記念講演会「人生の金メダルをめざして」（於：市民会館）。講師：山下泰裕・東海大教授（名誉卒業生）。	1/6 中央省庁、1 府 12 省庁として発足。 1/20 米大統領にブッシュ就任。 3/23 東京生命保険会社の破綻。 4/1 情報公開法施行。
		3	1 号館、体育館、リニューアル工事完成。	
		4	第 5 回剣聖宮本武蔵顕彰全国小・中学生剣道	

			大会で九中剣道部が優勝し、文部科学大臣賞を受賞。以後、連続優勝する。	4/26 小泉純一郎内閣成立（自公保3党連立）。
		6/2	第1回ミズーラ子ども英語劇場「西部の魔法使い」上演（於：3号館ホール）。以後、毎年連続公演。	5/11 熊本地裁、ハンセン病訴訟で国に賠償命令。 6/22 ハンセン病補償法成立。
		8/1~20	全国高校総体（熊本県）に団体6種目、個人9種目出場。	8/1 「ひのくに新世紀総体」、県民総合運動公園陸上競技場KKウイングで開幕。
		9/22	創立90周年記念体育祭開催。	9/11 米国同時多発テロ事件発生。ニューヨーク世界貿易センタービルに2機の旅客機が激突。
		10/9	「遠山先生を偲ぶ会」を学院体育館で開催。講師：土山研三院長。	10/10 野依良治、ノーベル化学賞受賞。
		10/26	アメリカ南部一致ルーテル教会訪日団（約30名）が来校。	10/28 熊本ルーテル教会宗教改革記念合同礼拝をブラウン記念礼拝堂で挙行。説教担当：北米一致ルーテル教会サウスカロライナシノッド訪日団長・ダンジェス牧師。
		11/28	創立90周年記念礼拝（於：ブラウン記念礼拝堂）。	
		11/29	創立90周年記念式典挙行（於：熊本市市民会館）。記念祝賀会開催（於：熊本ホテルキャッスル）。	10/29 テロ対策特別措置法成立。
		11	90周年記念写真集『新世紀さらなる飛躍へ九州学院90年の歩み』刊行。	
		12/23	第52回全国男子高校駅伝大会で陸上部（監督：禰雄進）が準優勝。	12/1 皇太子妃、内親王出産。称号・敬宮、名前・愛子。
2002	14	2/22~	第6回中国研修旅行（北京）実施。日中国交回復30周年にあたり、九州学院がビザ不要の全国第1号修学旅行団となった。	1/1.ユーロ流通開始。欧州12ヶ国。 1/9~小泉首相、ASEAN加盟5カ国歴訪。 2/17~19 ブッシュ大統領来日。
		3	第74回選抜高校野球大会（2年ぶり3度目）に出場。	5.経団連と日経連が統合し日本経済団体連合会（日本経団連）発足。
		3	英語コース第7回英国研修旅行実施。	5/19 沖縄復帰30周年記念式典。
		3/31	土山研三第7代院長退任。	5.サッカーワールドカップを韓国と共催。
		4/1	内村公春第8代院長就任。	6.出生率過去最低の1.33%。
		4/20	第2回ミズーラ子ども英語劇場「宝島」公演。	7/24 郵政公社関連4法成立。
		8	九中剣道部、全国中学校体育大会（和歌山）で7年ぶり3度目の全国優勝。高校剣道部、玉竜旗高校剣道大会で2年連続3度目の優勝。	9/17 小泉首相訪朝し日朝平壤宣言調印。 10/8 小柴昌俊、ノーベル物理学賞、田中耕一、ノーベル化学賞受賞発表。
		秋	第46回全国中学校ゴルフ選手権大会で有村智恵（中3）が優勝。	10/15 北朝鮮に拉致された5名帰国。 10/30 日朝国交正常化交渉。拉致問題で物別れし閉幕。
		12/2	クリスマス・イルミネーション点灯式。12/14学院クリスマス礼拝。12/21学院燭火礼拝。	12/4 拉致被害者支援法成立。 12/16 閣議、最新鋭護衛艦「イージス艦」をインド洋派遣決定。
2003	15	1/24	創立90周年記念事業・中学校新校舎・部室倉庫棟建築起工式を挙行。	1/9~12 小泉首相、ロシアを訪問。1/10 日ロ行動計画発表。
		1/29	高校奨学生・専願生入試。2/18 高校一般生入試。従来の「英語・国公立コース」を「英語・理数特進コース」に名称変更・改革を実施。	3/10 日経平均株価、20年ぶりに8,000円割れ。 3/18 小泉政権、米国のイラクへの武力行使支持を表明。3/20 米英軍地上部隊、イラク領内に進攻開始。イラク戦争に突入。
		2/22~26	高1研修旅行は中国研修旅行から「北海道スキー研修旅行」に変更して実施。	3/24 映画「千と千尋の神隠し」がアカデミー賞の長編アニメーション賞を獲得。
		3	英語コースの海外研修をイギリスからニュージーランドに変更して実施。	4/1 日本郵政公社発足。
		4/1	富島裕史牧師（S28）、学院チャプレンに就任。	4/9 フセイン政権崩壊。 4/14 国際ヒトゲノム計画によってヒトゲノム解読の全作業を完了。
		4/9	平成15年度入学式挙行。中学108名（3クラス）、高校322名（8クラス）が入学。	5/1 ブッシュ米大統領、イラク戦争終結を宣言。
		4/19	第3回ミズーラ子ども英語劇場「赤ずきんちゃん」公演。「デイリー読売」でも大きく取上げられる。	6/6 有事関連3法成立。 7/26 イラク復興支援特別措置法成立。
		6	中学校全校教育キャンプ（2泊3日）を大分県中津江村鯛生スポーツセンターで実施。	8/27~29 北朝鮮の核問題を協議する6カ
		8/29	中学校新校舎（4号館）竣工。8/21 体育館横	

			部室・倉庫棟竣工。2学期から使用開始。	国協議を北京で開催。
		9/13	中学新校舎（4号館）竣工落成式。記念礼拝（於：3号館ホール）。	11/9 第43回総選挙（与党絶対安定多数）。
		12/20	中高合同クリスマス礼拝（於：学院体育館）。燭火礼拝（於：3号館ホール）。	11/19 第2次小泉内閣成立。
2004	16	4/1	全天候型レーン改修完了。	1/25 NASA 探査車が火星に着陸。
		4	学院には幼稚園に32名、中学108名（3クラス）、高校375名（9クラス）が入学。	3/13 九州新幹線部分開業。（八代～鹿児島中央駅）
		4/11	第22回長崎鎮西学院・九州学院スポーツ交流大会開催。	4.イラクで5邦人が拉致。
		5/8	全天候型レーン改修竣工式。末續選手足型記念碑（アテネ・オリンピック出場）披露式。	5/21 裁判員制度法成立。
		6/9	末續慎吾選手アテネ・オリンピック壮行会（於：学院体育館）。陸上競技部OB会主催の壮行会（於：市内ホテル）開催。	5/22 小泉首相、2度目の訪朝（拉致被害者家族5人が帰国）。
		6/18～19	キリスト教特別伝道週間。講師：清重尚弘・九州ルーテル学院大学院長・学長「生きる力、生かす力」。井上賢二郎牧師・ルーテル学院中高チャプレン「心の目」。中山泰男（S34）・リデルライトホーム施設長「何事も一生懸命に」。	6/5 年金改革関連法成立。6/9 道路公団民営化法成立。6/14 有事関連7法（国民保護法など）成立。
		10/26～29	内村院長を始め3名の職員と生徒6名、韓国文泰高校を訪問。	7/11 第20回参議院選挙（民主党、自民党を上回る）。
		11/6	九学祭開催。文泰高校からの訪問団（教師3名、生徒7名）文化祭に参加し交流。	10/1 イチロー、大リーグ年間最多安打262本達成。
		11/13	みどり幼稚園創立80周年記念礼拝、記念式典（於：ブラウン記念礼拝堂）。	11/1 新紙幣流通開始。
		11	敬愛寮棟リニューアル工事完成。1号館エレベーター（バリアフリー化）竣工。	11/10 中国潜水艦、日本領海侵犯。
				12/1 羽田第2ターミナル開業。
				12/26 スマトラ沖でM9.0の地震、津波で死者行方不明22万人以上。
2005	17	3	平成17年度大学入試で国公立大54名、私立大341名が合格し、大躍進する。	1.株価11,500円に回復。
		4	幼稚園に26名、中学に105名、高校に345名が入学。	2/16 京都議定書発効。
		4/16	第5回ミズーラ子ども英語劇場「フロッグプリンズ」、3号館ホールで実施。	3/25～9/25 愛知万博「愛・地球博」が開幕。
		4/22	牧野富夫・日本大学副学長（S8）講演「学ぶことの意義」。	4.北京で1万人による反日デモ。中国全土に拡大。中国浙江省で3万人超の農民暴動発生。
		6/18	キリスト教特別伝道講演。講師：井上忠男・日本赤十字社企画広報室参事、「あなたの若い日にあなたの造り主を覚えよ〈現代社会と戦争〉」。	4/25 JR 福知山線脱線事故。
		9/26～	インマヌエル・カレッジからの訪問団（18名）が来熊。10/2 学院3号館ホールで歓送会。	6/20 日韓首脳会談で歴史認識合意せず。
		10/26	文泰高校からの訪日団（理事長以下19名）が来校。全校生徒との音楽交流会開催。	7/7 ロンドン同時爆破事件発生。
		11/17	中学（2年）韓国修学旅行で文泰学園を旅行団として初訪問。木浦市長からも歓迎を受けた。	8/25 ハリケーン「カトリーナ」が米国フロリダ州、ルイジアナ州に上陸。
				10/1 インドネシア・バリ島で同時爆弾テロ発生。
				10/12 中国が有人宇宙船の打上げに成功。
				10/26 沖縄の米軍普天間飛行場移設問題で名護市辺野古キャンプ・シュワブ沖に建設することで日米基本合意。
				11/20 「はやぶさ」小惑星イトカワに着陸。
2006	18	1/13	創立95周年記念講演会。講師：大渡憲一・関東学院大学文学部社会学科講師、「みんなが生き生きと生活できる社会を築くには～障害のある人の社会参加～」。	1/20 米国産牛肉（BSE 危険部位混入）、再び全面禁輸。
		4/5	文泰中学校修学旅行団が来校、交流。	2/5 アラブ諸国でムハンマド風刺画に対する抗議運動、暴動化。
		4	中学114名（過去最多）、高校314名が入学。	2/23 荒川静香、アイススケートでアジア初の金メダル。
		6/9～10	キリスト教学校教育同盟第94回総会を本学院で開催（各校代表約260名参加）。6/10 潮谷義	3/20 第1回ワールド・ベースボール・クラシックで日本優勝。

			子・熊本県知事特別講演「学校教育に期待するもの」開催。	4~10.ライブドアショック、堀江メール問題発生。
		3~8	高校剣道部、第22回若潮杯、第15回全国高校、18年度玉竜旗、第3回武蔵旗、各大会で全国優勝。中学剣道部、第23回若鷲旗、第17回神崎町旗、各大会で全国優勝。	6/8~15 今上天皇・皇后、東南アジア3カ国を歴訪。 7/5 北朝鮮によるミサイル発射実験。 9/19 タイ軍事クーデター発生。
		10/9	遠山先生召天記念講演会。講師：岩崎國春・元学院教師(S4)、「役に立つ善人」。中高1年、万日山墓参実施。	9/26 安倍晋三内閣発足。 10/9 北朝鮮の核実験を受け、日本は独自の経済措置を発動。
		10/26~29	内村院長以下10名、文泰学園を訪問。木浦市庁を表敬訪問し、現地テレビで放映。	10.イラクのバグダッドで連続爆弾テロ事件発生。
		11/1~3	文泰高校訪日研修団(10名)が来校。ホームステイと九学祭に参加。	11/15~16 ベトナムでAPECが開催される。
		11/9~	中学校、韓国研修旅行(4泊5日)を実施。	
		11/21	遠山先生の墓碑・顕彰碑移転解体式挙(於：万日山)。	12/26 フセイン元イラク大統領の死刑確定。12/30 執行。
		12	陸上部、第57回全国高校駅伝大会で5位入賞。	
2007	19	2/20~24	高校の研修旅行、この年からシンガポール・マレーシア・コース、長野・東京コース、東京コースの3コースで実施。	2/5 中国の海洋調査船が尖閣諸島・魚釣島付近で無断海洋調査。中国政府、同諸島の領有権主張。
		3/28	遠山先生顕彰碑の移転竣工記念礼拝(於：ブラウン記念礼拝堂前設置場所)。	4/11 中国の温家宝首相が訪日。安倍首相と会談。4/12 衆議院本会議で演説。日中ハイレベル経済対話発足。
		4/10	平成19年度入学式。中学124名、高校383名が入学。高校制服(田山淳朗デザイン・S25)を16年ぶりに改新。	4/16 バージニア工科大学銃乱射事件が発生。
		5	同志社大学と「キリスト教主義学校連携ネットワーク」の提携を締結。	5/16 サルコジ新フランス大統領就任。
		5/4	女子空手道部(監督：日吉伸孝)、火の国旗全国高校空手道大会で初優勝。	7/16 新潟県中越沖地震が起き、柏崎刈羽原子力発電所が運転全面停止。
		6/30	熊本県教育振興会主催「第11回新しい風を呼ぶ教育講演会」開催。講師：山下泰裕東海大教授、「人生の金メダルをめざして」。	8/16 4年ぶりに最高気温更新40.9℃(多治見市、熊谷市)、熱中症相次ぐ。6年半ぶり皆既月食。
		10/6	「建学の精神を学ぶ会」講演会。講師：岩津昭夫(S7)・平成音楽大講師。	9/30 厚生労働省の発表で日本の100歳以上人口、3万人を超える。
		11/17	学院祭校内発表会。	10/1 郵政民営化。日本郵政グループ発足。
		12	合唱部、全国高等学校総合文化祭(合唱部門)県代表選考会で金賞受賞。	10/2~4 第2回南北首脳会談が、北朝鮮平壤で開催された。
		12	中学剣道部、第26回若鷲旗剣道大会で5年連続9度目の優勝。	11/21 京都大学再生医科学研究所の山中伸弥ら、万能細胞(iPS細胞)の作製に成功。
		12/15	学院クリスマス礼拝。トーンチャイム演奏、みどり幼稚園児ページェント。	
2008	20	1/11	創立記念講演会開催(於：学院体育館)。講師：遠山友寛(S21)・TMI総合法律事務所弁護士、「九州学院と私」。	1/3 原油先物相場が急騰し、1バレル100ドル台を記録。
		2	「創立百周年記念事業計画委員会」、「創立百周年史準備委員会」を設置。	1/15 オーストラリア連邦裁判所、南極海一部海域での日本の調査捕鯨の差し止めを命じる。
		2	合唱部、ヴォーカルアンサンブルフェスティバルでインプレッション賞を受賞し、声楽アンサンブルコンテスト全国大会(福島県)に2年連続出場。	3/3 米環境保護団体「シーシェパード」の船舶が調査捕鯨を妨害。
		3	高校剣道部、魁星旗争奪全国剣道大会で8年ぶり3度目の優勝。	3/13 東京外国為替市場で一時、1ドル100円を割り込む。12年ぶり。
		4	「創立百周年記念事業実行委員会」設置。	4/1 教職大学院発足。後期高齢者医療制度スタート。
		4/9	平成20年度入学式。中学113名(3クラス)、高校380名(9クラス)が入学。	
		4/26	第8回ミズーラ英語劇場「リトルマーメイド」	4/1 メタボ健診・保健指導の義務化。中国

			上演（3号館ホール）。	四川大地震。
		5/4	第25回火の国旗全国高校空手道優勝大会で、女子空手道部が2年連続2度目の優勝。	5/7 メドベージェフ、ロシア連邦新大統領の就任。
		6/21	「いのちの教育」講演会開催。講師：木村和也・RKKアナウンサー、演題：「かけがえない命」。	6.教員免許の更新時講習試行開始。
		6/25	「創立百周年記念事業実行委員会」第1回を開催（於：学院会議室）。	7/7 第34回主要国首脳会議（G8サミット）を北海道洞爺湖町で開催。
		8	女子空手道部、平成20年度全国高校総体「彩夏到来08埼玉総体」で初優勝（創部3年目）。	8/3~24 北京五輪開催。女子ソフト、北京五輪で念願の「金」獲得。
		8	合唱部、全国総合文化祭（三重県）に出場。	9/1 福田首相が辞任し、9/24 麻生太郎が第92代首相に就任。
		10/4	建学の精神を学ぶ会。講師：坂根信義（S10）・九州ルーテル学院理事長、演題「九州学院からもらった宝物」。	9/15 アメリカの大手証券会社リーマン・ブラザーズが経営破綻。
		10/24	育友会講演会（於：ブラウン記念礼拝堂）。講師：槌田紘基（S10）・元学院参与、演題：「人を伸ばす視点とは…教育・共育・響育」。	10/7 ノーベル物理学賞（南部・益川・小林）、10/8 ノーベル化学賞（下村）発表。
		11/18	キリスト教特別伝道講演会。講師：藤井浩牧師（元学院チャプレン）、演題：中学「あなたも招かれています」、高校「神の選び」。	11/4 アメリカ大統領選挙でバラク・オバマ（民主党）候補が第44代アメリカ合衆国大統領に当選。
2009	21	1/20	創立記念講演会（於：学院体育館）。講師：徳永瑞子・聖母大学教授（NGOアフリカ友の会代表）、演題：「いのちの重さ」。	1/20 バラク・オバマ第44代アメリカ大統領に就任式。
		1/30	熊本バンド133周年記念早天祈祷会（於：花岡山山頂）。奨励：福田稠（学院理事）・福田病院理事長。	1.アイスランド、世界的な金融危機により経済破綻。
		3/4	九州学院創立百周年キャッチフレーズ選考結果発表。1席：佐間野英之（S22）「百年の想い世代を超えて」に決定。	3/13 東京駅発着ブルートレイン全廃。高速道路料金、土日祝日1,000円実施。
		3	創立百周年記念事業募金委員会、募金趣意書を作成し募金活動開始。	5/21 裁判員制度スタート。
		4/9	平成21年度入学式。中学118名、高校328名が入学。	5/25 朝鮮民主主義人民共和国、2006年に続き2回目の核実験実施。
		6/20	「いのちの教育」講演会開催。講師：村上美香アナウンサー、演題：「命を守りたい～取材で見えてきたこと～」。	6/1 米GM経営破綻、国有化へ。
		6~8	中学野球部、平成21年度県中体連・軟式野球大会で優勝し、九州大会で3位。全国中学校軟式野球大会でベスト16。	7/22 日本各地で皆既日食を観測。21世紀で最も継続時間の長い日食となる。
		7/7	学院進路部主催の「大学・専門学校合同説明会」（於：3号館ホール）開催（22大学・専門学校参加）。	8/30 民主党が第45回衆議院議員選挙で絶対安定多数を上回り、第1党に躍進。
		8	水泳部の池端宏文（高2）、全国高校総体（近畿まほろば総体）100mバタフライ、全国JOCジュニアオリンピックカップ大会50mバタフライで優勝。第64回国民体育大会（トキメキ新潟国体）で宮本淳平（高3）、少年男子A100m自由形で優勝。	9/16 民主党代表・鳩山由紀夫が第93代内閣総理大臣に任命され、鳩山内閣が成立。 9.夏休み明けのインフルエンザによる休校広がる。
		10/22	育友会講演会開催。講師：坂井賢二参与、演題：「サポーター～大切にしたい倅啄のころ～」。	10/9 ノーベル平和賞をオバマ米国大統領が受賞。「核なき世界」「国際協調」「対話路線」を評価。
		11/17	キリスト教特別伝道講演会。講師：山本真司・同志社国際中高宗教主任、演題：「永遠の命、いかがですか」。	10/25 日本福音ルーテル教会「熊本地区宗教改革記念合同主日礼拝」、「神学校百周年記念一日神学校」開催。（於：九州学院） 11/13~14 オバマ大統領、初来日。
		12/20	男子陸上部、全国高校駅伝大会で5位入賞し、4年連続12度目の全国入賞。	12/1 欧州連合（EU）の新基本条約であるリスボン条約が発効。

1/19	創立記念講演会開催（於：学院体育館）。講師：市川一宏・ルーテル学院大学学長、演題：「See you 命の光」。	1/4 ドバイに世界一の超高層ビル、ブルジュ・ハリファ（828m）完成。
1/30	熊本バンド 134 周年記念早天祈祷会（於：花岡山山頂）。奨励：原誠・同志社大学神学部教授、題：「使命を与えられる—知ったものの責任」。	2/12～28 バンクーバー冬季オリンピック開催。2/24 アメリカ合衆国下院監督・政府改革委員会公聴会に、トヨタ自動車の豊田社長が出席。
3	合唱部、第 3 回アンサンブル・コンテスト全国大会（福島県）に 3 年連続出場。	3/26 黄海で韓国の哨戒艦が沈没。
4/4	新ラグビーグラウンド（徳王グラウンド）落成式。第 2 回橿原倶楽部ラグビー祭開催。	4/1 子ども手当支給開始。高校無償化制度施行。
4/9	平成 22 年度入学式。中学 120 名、高校 355 名入学。	4/3 米アップル社、「iPad」発売。
4/19	韓国・文泰学園中学研修団（34 名）来校、交流親睦会。	大相撲、野球賭博で混迷。NHK、大相撲生中継を中止。
4/24	第 10 回ミズーラ子ども英語劇場「オズの魔法使い」公演（於：3 号館ホール）。	4/12～13 第 1 回核安全サミットをアメリカのワシントン D.C. で開催。
5～7	第 22 回県高校総合文化祭の囲碁・将棋部門で森崎盛一郎（高 2）が 2 連覇し、全国大会で 5 位入賞。第 23 回全国高校将棋竜王戦県大会でも 2 連覇し、全国大会出場。	5/1～10/31 上海国際博覧会開幕。 5/9 EU が 7500 億ユーロのユーロ圏支援策で合意。5/14 スペースシャトルアトランティス号の最終打ち上げ。
6/19	「命の教育」講演会。講師：浦上友美・熊本赤十字病院救命救急病棟職員、演題：「尊厳ある生と死への援助を目指して～赤十字支援活動の経験から～」。	6/13 小惑星探査機はやぶさ、地球に帰還。 6/11～7/11 FIFA ワールドカップ南アフリカ大会（アフリカ大陸で初のワールドカップ）開幕。
6/19	新生・九州学院ブラスバンド（部長：室永芳久）第 1 回定期演奏会開催（於：ブラウン記念礼拝堂）。	6/26「2010 チャリティーコンサート熊本」（於：学院 3 号館ホール、主催：メイク・ア・ウィッシュ・オブ・ジャパン福岡支部）が開催され、学院合唱部が特別出演。
7/1	長岡立一郎理事長、学校法人九州学院専任理事長に就任。みどり幼稚園長を兼務。	
7/17	合唱部、県合唱コンクールで金賞受賞し、九州合唱コンクール出場。	6/28 高速道路無料化社会実験開始。（平成 23 年 6/19）
7/26	第 92 回全国高校野球県大会で優勝し、10 年ぶり 7 度目の甲子園出場決定。7/31 壮行会。	高齢者の所在不明多数発覚。 7/31 日本の人口 1 億 2705 万人。
8	第 92 回全国高校野球大会でベスト 8 進出。	8. 猛暑で熱中症死者相次ぐ。
8	中学剣道部、第 40 回全国中学校剣道大会（島根県）で優勝。通算 4 度目の全国制覇。	8/18 イラク駐留アメリカ軍の戦闘部隊、全て撤退完了。
8	全国高校総体 100m バタフライで池端宏文（高 3）が優勝（2 連覇）。前年の熊日「スポーツ大賞」に続き、スポーツ「激励賞」を受賞。	
8	創立 100 周年記念事業・2 号館リニューアル工事完成。	9/7 尖閣諸島中国漁船衝突事件。
9/11	学院体育祭を開催。	10/7 ノーベル化学賞（根岸・鈴木）発表。
10/1	長岡理事長の学校法人九州学院理事長就任式（於：ブラウン記念礼拝堂）。奨励：渡邊純幸・日本福音ルーテル教会総会議長、題「愛を飛ばせ」。	10/18～29 名古屋で第 10 回生物多様性条約締約国会議（COP10）開催。
10/3	「建学の精神を学ぶ会」講演開催。講師：長岡立一郎理事長、演題「とこしえに輝く星となれ」。	10/25 日本福音ルーテル教会「熊本地区宗教改革記念合同主日礼拝」（於：ブラウン記念礼拝堂）。午後、「神学校百周年記念一日神学校」（於：学院校舎）開催。
10	野球部、秋の県大会で優勝し、九州大会でベスト 4 となり、春の選抜大会出場を勝ち取る。	
10/29	～30「九学祭」開催。	11/11～12 韓国のソウルで第 5 回 G20 主要国首脳会議を開催。横浜市でアジア太平洋経済協力会議（APEC）の首脳会議を開催。11/23 延坪島砲撃事件が勃発。
11/16	キリスト教特別伝道講演会開催。講師：キャロル・サック、演題：「魂の癒し・祈りの竖琴」。	
11/26	クリスマス・イルミネーション点灯式。	
12/18	学院クリスマス礼拝。12/22 学院燭火礼拝。	羽田空港、32 年ぶり国際定期便再開。

		12/26	男子陸上部、第 61 回全国高校駅伝大会（7 年連続 30 回目）出場し、3 位に入賞。	12/4 東北新幹線全線開通。
2011	23	1/18	創立 100 周年記念講演会開催（於：学院体育館）。講師：蒲島郁夫・熊本県知事、演題「夢限りなく」。	1/10 中国貿易統計が発表され、2010 年の輸出、新車販売台数が 2 年連続世界一となった。
		2/18	山下泰裕・東海大学体育学部長（学院名誉卒業生）、3 年ぶりに講演。（於：体育館）	1.チュニジアでジャスミン革命が発生。 1/19 ワシントン D.C.でオバマ大統領と胡錦濤国家主席が会談。
		3/1	高校第 63 回卒業式挙行（於：体育館）。361 名が卒業。	3.大相撲、八百長問題で春場所中止。
		3/14	中学第 64 回卒業式挙行（於：ブラウン記念礼拝堂）。111 名が卒業。	3/11 東日本大震災勃発（M9.0）。大津波により壊滅的な状況となる。東京電力福島第一原子力発電所が被害を受け、大規模な原子力事故が発生。
		3	野球部、9 年ぶり 4 度目の春の選抜野球大会に出場。3/26 初戦突破。	3/12 九州新幹線全線開通。
		4/9	平成 23 年度入学式挙行。	4/1 完全実施される新学習指導要領で「小学 5、6 年生の英語活動」が必修化。
		4/22	創立百周年記念大同窓会開催（於：熊本ホテルキャッスル）	5/17 薬害エイズ事件の訴訟最終終結。和解成立。
		4/23	第 11 回ミズーラ子ども英語劇場「ジャングルブック」公演。（於：3 号館ホール）	6/24 小笠原諸島が世界自然遺産に登録。 6/26 平泉の歴史的建造物群が世界文化遺産に登録。
		6/18	大村詠一氏「1 型糖尿病と共に～夢に向けて～」講演開催。（於：体育館）	7/18 2011FIFA 女子ワールドカップドイツ大会決勝戦でサッカー日本女子代表「なでしこ ジャパン」がアメリカ代表を破り初優勝。国民栄誉賞受賞。
		6/25	九州学院野球部創部百周年記念事業「創部百年の祝賀会」・「故古田昌幸氏野球殿堂入りを祝う会」開催。（熊本ホテルキャッスル）	7/24 日本のテレビ放送、全国で完全デジタル化。
		7/25	西第 6 代院長告別式。（於：ブラウン記念礼拝堂）	9/17 貧困と格差社会の解決を求めるウォール街の一角の占拠開始。（「ウォール街を占拠せよ」）
		8/21~29	「ルーツを訪ねる旅」（ニューヨーク、バージニア、ノース・サウス・カロライナ）実施。	9/29 中国、初の宇宙ステーション設立に向けた無人実験機「天空 1 号」打上げ成功。
		9/3	百周年記念招待試合・野球（於：藤崎台球場、対報徳学園戦）開催。	10/18 政府が 2012 年 4 月 1 日付で、熊本市を 20 番目の政令指定都市へ移行することを閣議決定。
		9/15	百周年記念招待試合・武道（柔道・空手道・剣道）と球技等（バドミントン、バスケットボール、ハンドボール）を開催。（於：熊本市総合体育館）。	10/20 リビアのカダフィ大佐殺害。
		10/1	百周年記念体育祭予定。	10/31 国連の推計で世界人口が 70 億人に達した。
		10/11	百周年記念体育館落成式挙行。	11/21 オウム真理教事件の現公判が終了（死刑確定 13 人、無期懲役確定 5 人、逃亡中 3 人）。
		10/14	「創立者の建学の精神を覚える会」で長岡理事長が「使命感に燃え働いた C.L.ブラウン先生～今再びつながりの大切さを思う～」の講演。（於：体育館）	
		10/21	育友会主催講演会・石橋敏郎熊本県立大学教授「人を育てる」開催。（於：ブラウン・メモリアル・チャペル）	
		10/31	芸術鑑賞「ミュージカル・アトム」（於：崇城大学市民ホール）	
		11/3	百周年記念九学祭開催。	
		11/12	百周年記念市中パレード実施。	
		11/15	キリスト教特別伝道講演会でチャイルド・ファンダ・ジャパンの伊藤久平氏「敬天愛人の精神～神とつながり、人とつながる～」講演。	
		11/16	「創立 100 周年記念 歴史資料・情報センター」開設式典挙行。	
11/16	（～19 日）創立 100 周年記念歴史展開催。（於：3 号館 1 階）			
11/17	百周年記念礼拝（於：ブラウン記念礼拝堂）			
11/18	創立 100 周年記念式典挙行予定（於：熊本県立劇場）。記念講演講師：鎌田實（諏訪中央病			

			院名誉院長)、演題「困難な時代をどう生きるかー希望を持って生きるー」。記念祝賀会開催。(於:熊本ホテルキャッスル)	
		11/19	宗教部(敬愛会・白羊会)OBの集い「“REUNION”感謝礼拝」(於:ブラウン記念礼拝堂)	
		12/14	同窓会イベント:創立百周年記念「マッスルミュージカル」開催。(於:崇城大学市民ホール)	12/12 京都の清水寺で今年の漢字が発表され、「絆」に決定。
		12/17	百周年記念燭火礼拝・同窓会主催:記念講演会開催。講師:潮谷義子(前熊本県知事)、演題「未来を灯す100年の礎」。(於:3号館ホール)	12/17 朝鮮民主主義人民共和国の最高指導者金正日総書記が死去。
		12/24	百周年記念特別テレビ番組(TKU)「百年の想い世代を超えて」放送。	
		12/25	第62回全国高校駅伝競走大会出場(8年連続31回目)、2年連続3位入賞。	
2012	24	1/19	創立記念講演会で元WHO天然痘根絶対策本部長・蟻田功氏「人類とウイルスとの戦い」講演。(於:体育館)	1/20 東京大学、秋入学へ全面移行するとした素案を正式発表。
		2/23	兼本哲也(S3回卒、元職員)旭日双光章祝賀会開催。(於:熊本ホテルキャッスル)	2/29 東京都墨田区に東京スカイツリー(自立式鉄塔世界一の高さ634mの展望タワー)が竣工。
		3	第84回選抜高校野球大会出場。	
		11/1	『九州学院百年史』—九州学院とその時代—(九州学院百周年記念史編纂委員会)発行。	3/12 米国国勢調査局の推計で世界人口70億人を突破。
2013	25	1/22	創立記念講演会:三原悟(S22卒)「夢の実現へ」—大切な一人一人の後輩へ—開催。	3/15 安倍首相、TPP参加交渉参加を正式に表明。
		2/16	中学保健講演会:赤木夏代(助産師)「いのちの教育」開催。	4/1 NHK連続テレビ小説『あまちゃん』放送開始(～9月28日)。
		10/9	創立の精神を覚える会:竹熊誠(S15卒、翻訳家)「私は九学で育った」	5/5 長嶋茂雄氏と松井秀喜氏に国民栄誉賞を授与。
		10/25	育友会講演会:高光りょうすけ「子供を輝かせる源は感動力にある」	6/22 富士山がユネスコの世界文化遺産に決定。
		11/25	キリスト教特別伝道:テーマ「いのち」現職教育:江口再起牧師(東京女子大教授)「キリスト教教育とは何か」—ルター派教会の考え方—	9/7 2020年夏季五輪・パラリンピックの開催都市が東京に決定。 10/1 安倍内閣、2014年4月に消費税率を8%に引き上げ決定。
		11/26	キリスト教特別伝道講演:カンベンガ・マリールイズ(NPO法人ルワンダの教育を考える会)「生きること学ぶこと」—神さまと共に—	11/3 プロ野球の楽天が初の日本一を達成。
		12/20	学院クリスマス礼拝・祝会	
2014	26	4/1	阿部英樹第9代院長就任。	
		4/7	院長・チャプレン(小副川幸孝牧師)就任式。(於:ブラウン・メモリアル・チャペル)	

※月日の(例) 4は4月を、4/15は4月15日を表わす。